

# 管 理 業 務

總 務 課  
人 事 課  
施 設 課

病院運営機関・各種業務委員会



## 総務課

### 1) 総務・企画係

総務・企画係は、当院の法人理事会の運営（下表参照）及び中期計画・年度計画の進捗管理、病院運営会議・経営会議等の運営、病院内の事務・文書管理の取りまとめ、病院の広報活動などを担当している。

令和2年度は、当院全体が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年間だったが、当係では特に広報活動での影響が大きく、静岡市民「からだ」の学校や中高生向けの医療体験セミナーなどの広報事業が中止を余儀なくされた。

その一方で、県内唯一の第1種感染症指定医療機関として、新型コロナの流行初期から重症者の治療に取り組んできた当院への社会の関心は非常に高く、年間を通じ

て当院の活動が広く報道された。

また、新型コロナの治療に取り組む医療従事者への支援の輪の広がりには特筆すべきものがあり、当院にも一般市民や企業などから実に100件を超える寄付や差入れ、応援のメッセージなどの支援が寄せられた。

当係では、支援を受けるだけでなく、患者さんや市民の皆さんと共にコロナに向き合いたいという考えのもと、広報委員会及び医療がつなぐ「ひと」と「地域」の交流センターと連携し、来院者とスタッフの希望のメッセージを一本の木に託す「希望の木」プロジェクトなど、コロナ禍だからこそその広報活動を展開した。

令和2年度末の時点で、新型コロナウイルスの感染収束は未だ見通せない状況であり、当面は引き続き各種事業に制約が生じることが想定されるが「今だからこそできる、今しかできない」広報活動に取り組んでいきたい。

#### 令和2年度地方独立行政法人静岡市立静岡病院理事会開催実績

開催日	議事事項	審議結果
第1回 (書面審議)	審議事項 ①地方独立行政法人静岡市立静岡病院職員給与規程の一部改正について	原案どおり議決
第2回 令和2年6月26日	審議事項 ①令和元年度財務諸表等の承認について ②令和元年度業務実績報告書の承認について ③静岡市立静岡病院総合医療情報システム賃借業務について 報告事項 ①債権の放棄について ②令和2年度訴訟案件について	審議事項 ①～③全て原案どおり議決
第3回 (書面審議)	審議事項 ①医療行為に係る和解金の決定について	原案どおり議決
第4回 (書面審議)	審議事項 ①令和2年度予算の変更について	原案どおり議決
第5回 令和2年10月2日	審議事項 ①令和2年度医療行為に係る示談金の決定について ②令和2年度予算の変更について 報告事項 ①令和元年度業務実績評価結果について ②新型コロナウイルス感染症への対応と経営への影響について	審議事項 ①、②ともに原案どおり議決
第6回 (書面審議)	審議事項 ①地方独立行政法人静岡市立静岡病院職員給与規程の一部改正について	原案どおり議決
第7回 令和2年12月16日	審議事項 ①令和2年度予算の変更について ②令和3年度予算編成要領について ③地方独立行政法人静岡市立静岡病院職員給与規程の一部改正について ④地方独立行政法人静岡市立静岡病院業務方法書の一部改正について 報告事項 ①令和2年度上半期の経営状況について	審議事項 ①～④全て原案どおり議決
第8回 令和3年3月10日	審議事項 ①地方独立行政法人静岡市立静岡病院職員給与規程等の特例に関する規程の制定について ②令和2年度予算の変更について ③令和3年度計画について ④令和3年度予算について ⑤人事案件について 報告事項 ①医薬品の入札談合に係る告発への対応について ②損害賠償請求事件（訴外事件）に係る示談金（和解金）の決定等について	審議事項 ①～⑤全て原案どおり議決

## 2) 経理係

経理係は、当院の出納及び予算・決算に関する業務を担当している。地方独立行政法人移行に伴い、平成28年度決算から地方独立行政法人会計基準に沿った会計規程等を新たに整えて当院の経理を運用している。

令和2年度の決算は、総収益220億84百万円に対し、総費用は208億62百万円であった。

収益について、高額診療材料使用による診療単価の上昇により外来収益は前年度に比べ増加したものの、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う患者数の減少が顕著となった結果、医業収益全体では前年度に比べ8億43百万円減の176億42百万円となった。このうち入院収益は、8億43百万円減の121億14百万円で、外来収益は、19百万円増の51億95百万円であった。

また、補助金等収益は、新型コロナウイルス感染症対

策事業に係る補助金により、22億33百万円増の23億15百万円となった。

費用について、給与費は、診療体制維持に必要な医師、看護師等確保に伴う人員の増や新型コロナウイルス感染症患者等の対応手当等の増加により、前年度に比べ1億90百万円増の94億69百万円となった。

また、材料費は、手術件数が減少したことにより、診療材料の使用が減少し、60百万円減の58億17百万円で、減価償却費は、総合医療情報システムのリース期間満了等による償却対象となる資産数の減少により、1億19百万円減の11億31百万円であった。

第2期中期計画期間の2年度目となる令和2年度の当期純利益は、前年度に比べ、11億99百万円増の12億22百万円の黒字となった。

表1 損益計算書

科目	令和2年度	令和元年度	増減額	構成比率	
				令和2年度	令和元年度
	円	円	円	%	%
営業収益	21,805,451,715	20,368,401,095	1,437,050,620	98.7	99.0
医業収益	17,641,897,393	18,484,519,373	△ 842,621,980	79.9	89.9
入院収益	12,114,367,980	12,957,270,133	△ 842,902,153	54.9	63.0
外来収益	5,195,402,783	5,175,979,262	19,423,521	23.5	25.2
その他医業収益	368,079,178	393,093,067	△ 25,013,889	1.7	1.9
保険等査定減	△ 35,952,548	△ 41,823,089	5,870,541	△ 0.2	△ 0.2
運営費負担金収益	1,790,000,000	1,788,000,000	2,000,000	8.1	8.7
補助金等収益	2,314,533,599	81,080,121	2,233,453,478	10.5	0.4
寄附金収益	6,280,556	1,050,000	5,230,556	0.0	0.0
資産見返運営費負担金戻入	767,352	767,352	0	0.0	0.0
資産見返補助金等戻入	49,037,344	8,867,149	40,170,195	0.2	0.0
資産見返寄附金戻入	68,370	0	68,370	0.0	—
資産見返物品受贈額戻入	2,867,101	4,117,100	△ 1,249,999	0.0	0.0
営業費用	19,659,519,848	19,577,401,737	82,118,111	94.2	95.3
医業費用	19,238,074,807	19,147,621,467	90,453,340	92.2	93.2
給与費	9,075,808,186	8,880,374,854	195,433,332	43.5	43.2
材料費	5,816,716,259	5,877,048,597	△ 60,332,338	27.9	28.6
減価償却費	1,131,202,311	1,250,524,954	△ 119,322,643	5.4	6.1
経費	3,173,274,191	3,072,512,625	100,761,566	15.2	15.0
研究研修費	41,073,860	67,160,437	△ 26,086,577	0.2	0.3
一般管理費	421,445,041	429,780,270	△ 8,335,229	2.0	2.1
給与費	393,075,579	398,999,457	△ 5,923,878	1.9	1.9
減価償却費	3,204,999	3,426,827	△ 221,828	0.0	0.0
経費	25,164,463	27,353,986	△ 2,189,523	0.1	0.2
営業利益	2,145,931,867	790,999,358	1,354,932,509	—	—
営業外収益	278,101,381	196,141,209	81,960,172	1.3	1.0
運営費負担金収益	60,000,000	62,000,000	△ 2,000,000	0.3	0.3
財務収益	1,095,929	2,362,694	△ 1,266,765	0.0	0.0
その他医業外収益	217,005,452	131,778,515	85,226,937	1.0	0.7
営業外費用	1,156,439,573	968,397,091	188,042,482	5.6	4.7
財務費用	118,786,525	124,830,907	△ 6,044,382	0.6	0.6
消費税	921,160,232	834,130,710	87,029,522	4.4	4.1
雑支出	116,492,816	9,435,474	107,057,342	0.6	0.0
経常利益	1,267,593,675	18,743,476	1,248,850,199	—	—
臨時利益	0	4,120,834	△ 4,120,834	—	0.0
臨時損失	45,749,644	57,126	45,692,518	0.2	0.0
当期純利益(または当期純損失)	1,221,844,031	22,807,184	1,199,036,847	—	—

表2 貸借対照表

科目	令和2年度	令和元年度	増減額	構成比率	
				令和2年度	令和元年度
	円	円	円	%	%
資産	19,789,716,827	18,612,399,940	1,177,316,887	100.0	100.0
固定資産	10,717,412,236	11,127,482,005	△ 410,069,769	54.2	59.8
有形固定資産	10,328,834,861	10,681,133,605	△ 352,298,744	52.2	57.4
無形固定資産	4,832,120	163,500	4,668,620	0.0	0.0
投資その他の資産	383,745,255	446,184,900	△ 62,439,645	2.0	2.4
流動資産	9,072,304,591	7,484,917,935	1,587,386,656	45.8	40.2
現金及び預金	4,633,223,410	4,112,780,654	520,442,756	23.4	22.1
未収金	4,138,498,356	3,102,848,144	1,035,650,212	20.9	16.7
医薬品	149,752,495	129,893,997	19,858,498	0.7	0.7
診療材料	133,646,322	124,505,937	9,140,385	0.7	0.6
前払金	14,836,536	12,733,094	2,103,442	0.1	0.1
その他流動資産	2,347,472	2,156,109	191,363	0.0	0.0
負債及び純資産	19,789,716,827	18,612,399,940	1,177,316,887	100.0	100.0
負債	13,306,055,279	13,350,582,423	△ 44,527,144	67.2	71.7
固定負債	10,613,239,425	10,549,047,923	64,191,502	53.6	56.7
資産見返負債	354,443,880	176,898,112	177,545,768	1.8	1.0
長期借入金	600,000,000	600,000,000	0	3.0	3.2
移行前地方債償還債務	5,012,126,114	5,281,382,851	△ 269,256,737	25.3	28.4
退職給付引当金	4,646,669,431	4,489,527,216	157,142,215	23.5	24.1
リース債務	0	1,239,744	△ 1,239,744	0.0	0.0
流動負債	2,692,815,854	2,801,534,500	△ 108,718,646	13.6	15.0
一年以内返済予定長期借入金	300,000,000	240,000,000	60,000,000	1.5	1.3
一年以内返済予定移行前地方債償還債務	269,256,737	366,342,184	△ 97,085,447	1.4	2.0
未払金	1,396,698,121	1,466,848,016	△ 70,149,895	7.0	7.9
未払消費税等	13,992,400	11,432,900	2,559,500	0.1	0.1
未払費用	92,475,412	83,489,894	8,985,518	0.5	0.4
賞与引当金	491,570,078	433,232,922	58,337,156	2.5	2.3
一年以内支払予定リース債務	1,239,744	85,344,547	△ 84,104,803	0.0	0.4
その他流動負債	127,583,362	114,844,037	12,739,325	0.6	0.6
純資産	6,483,661,548	5,261,817,517	1,221,844,031	32.8	28.3
資本金	4,919,483,623	4,919,483,623	0	24.9	26.4
設立団体出資金	4,919,483,623	4,919,483,623	0	24.9	26.4
剰余金	1,564,177,925	342,333,894	1,221,844,031	7.9	1.9
利益剰余金	1,564,177,925	342,333,894	1,221,844,031	7.9	1.9

表3 固定資産明細書

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		差引当期末残高
						当期償却額	
	円	円	円	円	円	円	円
土地	3,001,110,000	—	—	3,001,110,000	—	—	3,001,110,000
建物	7,523,431,236	2,970,000	—	7,526,401,236	2,150,195,596	430,319,928	5,376,205,640
構築物	27,900,000	—	—	27,900,000	20,814,320	1,455,265	7,085,680
器械備品	4,370,770,982	781,260,465	20,927,354	5,131,104,093	3,198,538,890	623,837,153	1,932,565,203
車両	3,009,523	—	—	3,009,523	3,009,521	—	2
リース資産	922,417,438	—	—	922,417,438	920,179,102	78,616,174	2,238,336
建設仮勘定	9,440,000	190,000	—	9,630,000	—	—	9,630,000
電話加入権	163,500	—	—	163,500	—	—	163,500
ソフトウェア	—	4,847,410	—	4,847,410	178,790	178,790	4,668,620
長期貸付金	444,827,400	70,150,000	132,022,145	382,955,255	—	—	382,955,255
その他	1,357,500	—	567,500	790,000	—	—	790,000
計	16,304,427,579	859,417,875	153,516,999	17,010,328,455	6,292,916,219	1,134,407,310	10,717,412,236

表4 キャッシュ・フロー計算書

科目	令和2年度	令和元年度	増減額
	円	円	円
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,873,435,692	1,557,467,449	315,968,243
材料の購入による支出	△ 6,245,216,557	△ 6,402,269,966	157,053,409
人件費支出	△ 9,333,416,921	△ 9,201,222,437	△ 132,194,484
その他の業務活動による支出	△ 3,602,194,116	△ 3,370,922,035	△ 231,272,081
医業収入	17,654,469,221	18,537,518,122	△ 883,048,901
運営費負担金収入	1,850,000,000	1,850,000,000	0
補助金等収入	1,434,786,945	94,509,343	1,340,277,602
寄附金収入	6,603,146	29,881,300	△ 23,278,154
その他の業務活動による収入	226,525,043	142,528,393	83,996,650
利息及び配当金の受取額	1,042,291	2,454,303	△ 1,412,012
利息の支払額	△ 119,163,360	△ 125,009,574	5,846,214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 942,363,180	623,939,901	△ 1,566,303,081
定期預金の戻入による収入	1,500,000,000	3,500,000,000	△ 2,000,000,000
定期預金の預入による支出	△ 1,500,000,000	△ 2,000,000,000	500,000,000
有形固定資産の取得による支出	△ 978,754,656	△ 841,242,399	△ 137,512,257
無形固定資産の取得による支出	△ 2,570,469	—	△ 2,570,469
貸付金の回収による収入	53,066,345	63,282,300	△ 10,215,955
貸付けによる支出	△ 70,150,000	△ 98,100,000	27,950,000
補助金等収入	56,045,600	—	56,045,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 410,629,756	△ 465,368,528	54,738,772
長期借入れによる収入	300,000,000	300,000,000	0
長期借入金の返済による支出	△ 240,000,000	△ 180,000,000	△ 60,000,000
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 366,342,184	△ 360,748,990	△ 5,593,194
リース債務の返済による支出	△ 104,287,572	△ 224,619,538	120,331,966
資金増加額(または減少額)	520,442,756	1,716,038,822	△ 1,195,596,066
資金期首残高	2,612,780,654	896,741,832	1,716,038,822
資金期末残高	3,133,223,410	2,612,780,654	520,442,756

期首及び期末時点で運用中の定期預金は、資金期首残高及び期末残高に含まない。

表5 年度別経営収支(平成28年度～令和2年度)

年度	収 入		支 出		損益
	決算額	趨勢比	決算額	趨勢比	
	円	%	円	%	円
平成28	20,454,722,258	100.0	20,006,559,168	100.0	448,163,090
平成29	19,683,087,830	96.2	19,878,027,869	99.4	△ 194,940,039
平成30	20,170,851,286	98.6	20,104,547,627	100.5	66,303,659
令和元	20,568,663,138	100.6	20,545,855,954	102.7	22,807,184
令和2	22,083,553,096	108.0	20,861,709,065	104.3	1,221,844,031

表6 経営分析緒値

分析項目			分析項目		
1 総収支比率	(%)	105.9	10 平均在院日数	(日)	11.7
2 経常収支比率	(%)	106.1			
3 医業収支比率	(%)	91.7	11 診療収入に対する構成比率		
4 運営費負担金比率	(%)	8.4	投薬収入	(%)	3.8
5 職員給与比率	(%)	51.4	注射収入	(%)	7.8
6 病床稼働率	(%)	77.8	検査収入	(%)	7.7
7 外来入院患者比率	(%)	175.1	X線収入	(%)	5.2
8 1日平均患者数			処置・手術収入	(%)	31.1
入院	(人)	394	12 流動比率	(%)	336.9
外来	(人)	1,036	13 自己資本構成比率	(%)	32.8
9 患者1人1日あたり診療収入			14 資金不足比率	(%)	—
入院	(円)	84,318	15 固定比率	(%)	165.3
外来	(円)	20,647			

### 3) 情報係

情報係は、院内情報システム及びネットワークの管理を行っている。

院内情報システム管理では、総合医療情報システム、事務系システムの運用管理を行い、ネットワークの運用管理では、医療情報系及び事務系ネットワークの他に、公衆無線LAN（Shizubyo-free-WiFi）の運用管理を行った。

また、各種システムの導入・変更等の相談や調整、パソコン配備・修繕を随時行っている。

更に、今年度は次期総合医療情報システムを選定し、令和3年5月稼働に向けプロジェクトチームを立ち上げ、業務運用の見直し及び新システムの構築作業を進めた。

## 人 事 課

人事課の業務は、職員の任免・服務・給与その他勤務条件、職員の採用、職員の給与の支給、職員の研修、職員の安全衛生、職員の福利厚生に関する業務が主なものである。

### 1) 人事・厚生係

人事・厚生係は、職員の人事・厚生に関する業務を行った。令和2年度は職員の増員、医療従事者の勤務負担の軽減、柔軟な勤務形態の整備等を行い、「働き方改革」の実現に向けた職場環境の整備に努めた。

### 2) 給与係

給与係は、主に正規職員及びパート職員に対する毎月の給与や年間2回（6月、12月）の賞与、外部の応援医師に対する報酬の支給事務のほか、新型コロナウイルスに対応する職員の手当や、静岡市の制度に準じた給与改定など給与制度の見直しを行った。

また、令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症に伴い、各種補助金、交付金（人件費分）の申請や医療従事者慰労金の取りまとめ等を行った。

### 職種別職員数推移

(各年4/1現在)

職種	職員数			増減 (B) - (A)
	平成30年	平成31年(A)	令和2年(B)	
医師	154	153	162	9
看護師	523	516	523	7
薬剤師	35	35	37	2
理学療法士	15	16	17	1
作業療法士	4	5	5	0
言語聴覚士	3	5	6	1
診療放射線技師	31	34	35	1
臨床検査技師	40	40	41	1
臨床工学技士	16	17	19	2
管理栄養士	8	9	9	0
視能訓練士	2	2	2	0
事務	65	67	67	0
合計	896	899	923	24

## 施設課

施設課の業務は、事業資産の取得、管理及び処分、施設及び設備の維持管理、物品の調達及び管理、病院の防災及び消防計画に関する業務が主なものである。

### 1) 施設係

今年度の主要事業は医療の質の向上及び建築付帯設備の機能向上、防犯設備の更新などを行った。

修繕費では、大型外注修繕が10件で約4,328万円（前年度7件約4,063万円）、小額外注修繕が193件約3,695万円（前年度182件約3,615万円）である。修繕業務の実施に当たっては現場調査及び担当者とのヒアリングにより、修繕業務の優先順位付けを行い効率的に修繕を行っている。

大型外注修繕は血管撮影装置やMRIの更新に伴う電源幹線ケーブルの布設替えや建築付帯設備である中央監視設備や昇降機定期修繕の他、防犯設備の設備更新等を行った。

小額外注修繕は、経年劣化による空調機器や消防設備の修繕、施設の内装改修の他、レイアウト変更による電気配線器具の増設や移設などが多い。

光熱水費は約32,458万円であり、前年に比べ約3,784万円（前年度比約10%減）の減少である。

金額が減少した要因は、当院で使用する電力を入札により調達したためであり、電力使用量としては前年度10,808kWhに対して今年度10,896kWh（前年度比1%増）である。

業務委託は電気設備・空調設備・消防設備・昇降機等保守管理業務の他、清掃業務、駐車場管理業務など62件約34,988万円である。（前年度62件、約34,883万円）

病院内から排出される産業廃棄物は、全体で351.6万リットル（前年度322.7万リットル）で、前年比9.0%増加である。

これは、新型コロナウイルス感染症の治療および予防のために、ディスプレイ製品が増加したため、排出される医療廃棄物が増大した。

令和2年度 大型外注修繕（100万円以上）

修繕番号	修繕名	請負人	請負金額（円）
修施施第1号	東館5階血管撮影室1幹線布設修繕業務	日本電設工業(株) 静岡営業所	1,727,000
修施施第2号	東館地下1階MRI更新に伴う電気設備修繕業務	日本電設工業(株) 静岡営業所	2,860,000
修施施第3号	中央監視装置修繕業務	日本電技(株) 静岡支店	6,358,000
修施施第4号	ボイラー圧力調整器更新に伴う機器改造修繕業務	川重冷熱工業(株) 静岡支店	4,138,200
修施施第5号	昇降機設備定期修繕業務	(株)日立ビルシステム中部支社	8,272,000
修施施第6号	西館6階病棟シャワー室改修業務	(株)フジコーム	2,992,000
修施施第7号	東館12階感染症病棟シャワー室改修業務	(株)フジコーム	4,367,000
修施施第8号	東館非常用発電機エアアシストポンプ交換修繕業務	日本電設工業(株) 静岡営業所	2,695,000
修施施第9号	防犯用カメラ設備入替修繕業務	(株)静岡システム特機	4,917,000
修施施第11号	西館3階血液浄化センター給水設備改修業務	中央冷熱(株)	4,950,000
合計金額			43,276,200

令和2年度 小額外注修繕（100万円以下）

業種	設備	件数	金額比率(%)	業種	設備	件数	金額比率(%)
建築	医師住宅内装	0	0.0%	空調	空調機器	7	25.0%
	院内内装	14	26.4%		計装機器	7	25.0%
	建具（自動ドア含む）	32	60.4%		配管関係（弁交換含む）	12	43.0%
	屋上防水	1	1.9%		ダクト関係（フィルター含む）	1	3.5%
	院内サイン	1	1.9%		熱源機（ポンプ含む）	0	0.0%
	院内外構	3	5.6%		その他	1	3.5%
	木工事等	0	0.0%				
	その他	2	3.8%				
	件数 計	53	100.0%		件数 計	28	100.0%
		金額（円）	9,390,843		金額（円）	7,338,540	
電気	電気設備改修	9	20.0%	衛生	排水設備	12	46.2%
	コンセント回路	14	31.1%		器具交換	7	26.9%
	照明設備	8	17.9%		給水・給湯設備	5	19.2%
	N s コール	7	15.5%		その他、医療ガス設備	2	7.7%
	電話設備	7	15.5%				
					件数 計	26	100.0%
	件数 計	45	100.0%		金額（円）	6,435,683	
		金額（円）	5,991,634				
			消防・防災	22	件		
			金額（円）	5,383,400			
			昇降機等その他	19	件		
			金額（円）	2,403,910			
			総件数	193件			
			総金額（円）	36,944,010			

令和2年度 光熱水費

種 類	金 額(円)
電 気	165,535,341
水 道	26,637,645
ガ ス	132,403,934
合 計	324,576,920

令和2年度 委託料

委 託 種 類	件数	金 額(円)
設備機器保守点検業務	34件	110,067,936
清掃業務	8件	88,196,380
駐車場管理業務	3件	24,076,800
その他委託業務	17件	127,536,848
合 計	62件	349,877,964

令和2年度 産業廃棄物処理実績（数量）

種 類	廃棄物の内容	処理量（リットル）
感染性	人工腎臓用血液回路、点滴セット、ビニルチューブ、プラスチック製品等	2,656,260
	注射針、注射器、ビニルチューブなど	177,730
	小 計	2,833,990
非感染性	廃培地、廃血液、廃血清プラスチック容器等	77,300
	アンプル、ガラス小瓶、プラスチック製品等	550,155
	キシロール製品等	1,224
	小 計	628,679
安 定	金属性ベット、ギプス、金属、陶磁器屑、石膏	52,800
	合 計	3,515,469

## 2) 物品係

病院が医療サービスを提供するために必要なあらゆる物品を調達し、各部門の業務を支援する担当（係）である。

物品係では次のような業務を担当しています。

- 1 医療機器の購入契約、支払事務
- 2 固定資産台帳の作成、除却事務
- 3 薬品の購入契約、支払事務
- 4 診療材料の購入契約、供給及び支払事務
- 5 薬品・診療材料のたな卸し業務

- 6 医療用備品及び庁用器具備品の購入契約、支払事務
- 7 文房具、雑貨等の消耗品並びに印刷物の購入契約、供給及び支払事務
- 8 医療器械器具等の修理及び保守契約事務
- 9 在宅医療に関する機器の賃借契約、支払事務
- 10 不用品の売却・処分
- 11 治験旅費及び治験費物品購入、外部審査委員等への支払い業務、治験業務各種契約事務
- 12 その他の物品等の調達・契約事務

以上の主な業務の情報収集と、物品を安価で購入して効率のよい病院運営に寄与することに心掛けている。

令和2年度 器械及び器具購入の概況（1件1,000万円以上のもの）

器械名	部門名
磁気共鳴断層撮影装置（バージョンアップ）	放射線治療科
人工呼吸器	臨床工学科
体外式膜型人工肺	感染管理病棟
生体情報モニタ	感染管理病棟
X線一般撮影装置	放射線技術科
生体情報モニタ	I C U
パルス式キセノン紫外線照射型ロボット	臨床工学科
I M P E L L A 制御装置	循環器内科
電動ベッド	各病棟
移動型デジタル式汎用X線透視診断装置	手術室
ベッドサイドモニタ	手術室
3Dカメラシステム	心臓血管外科
ベッドサイドモニタ	G H C U

令和2年度 薬品購入額上位10品目

品名	数量
キイトルーダ点滴静注100mg	516瓶
オプジーボ点滴静注240mg	273瓶
ヘムライブラ皮下注150mg	80瓶
マヴィレット配合錠	5,838箱
レミケード点滴静注用100	1,225V
ザイティガ錠250mg	19,544錠
レブラミドカプセル5mg	6,360CP
アバスチン点滴静注用400mg/16ml	390V
アディオバイト静注用キット2000	255キット
コバルトトリイ静注用2000	299瓶

薬品契約総品目 3,080品（薬品1,791品、試薬1,289品）  
（薬品費執行額 2,881,023千円の24.69%）

令和2年度 診療材料購入額上位10品目

品名	数量
サピエン3 コマンドー	40セット
カーバンター・エドワーズ牛心のう膜生体弁	70個
コアバルブ Evolut PRO+	13セット
サーモクール SF 電極カテーテル	119本
BeeAT カテーテル電極	201本
冷凍アブレーションカテーテル	67本
ディスポオキシプローブ 生体情報モニター用	493個
コアバルブ Evolut R	10セット
TactiCath SE アブレーションカテーテル	91本
アキュナビカテーテル	108本

診療材料契約品目 6,820品目  
（診療材料費執行額 2,905,786千円の17.26%）

## 病院運営機関・各種業務委員会

### 病院運営会議

目的 病院運営全般についての重要事項の意思決定及び連絡調整を行う。

構成 小野寺知哉、吉永幸生、山崎文郎、山田 孝、前田明則、深澤誠司、塚本ひとみ、脇 昌子、水野薫子、縄田隆三、前田賢人、山本紀夫、佐藤景二、小林恵美子、漆畑利和、萩原 健、傳刀啓至、中川和巳、望月公次郎、松野謙次、川森伸彦、永野照雄、宮下 正、平松以津子、上松憲之、鈴木忠裕、長谷川智

幹事 鈴木忠裕 長谷川智

開催日 毎月第1水曜日と毎月第4火曜日に定例開催し、6回臨時開催した。

### 病院経営会議

目的 法人の管理運営上の重要事項について迅速な意志決定を行う。

構成 宮下 正、平松以津子、小野寺知哉、上松憲之、山崎文郎、脇 昌子、山田 孝、前田明則、深澤誠司、塚本ひとみ、水野薫子、縄田隆三、前田賢人、山本紀夫、佐藤景二、吉永幸生、小林恵美子、漆畑利和、萩原 健、傳刀啓至、中川和巳、望月公次郎、松野謙次、川森伸彦、永野照雄、鈴木忠裕、長谷川智、櫻井洸介

幹事 鈴木忠裕 櫻井洸介

開催日 第3水曜日に定例開催し、8回臨時開催した。

### 診療部会議

目的 病院運営会議での意思決定事項の伝達及び医療上の必要事項について協議する。

構成 小野寺知哉、山崎文郎、山田 孝、前田明則、深澤誠司、脇 昌子、水野薫子、縄田隆三、前田賢人、岩井一也、松本芳博、小柳津竜樹、田中俊夫、村田耕一郎、富田浩一、中村幸治、五十嵐健康、土屋恭子、佐野倫生、中井真尚、間嶋佑太、野口哲哉、井上 亮、池上 聡、濱村啓介、大山巖雄、玉里順子、森木利昭、渡邊 出、安部能崇、金 大志、片桐幸大

開催日 病院運営会議開催後の金曜日に定例開催した。

### 病院部門連絡会

目的 病院運営会議での意思決定事項の伝達等を行い、病院の円滑な運営を図る。

構成 塚本ひとみ、池谷綾子、井上暢子、青山治子、市川昭美、山村加寿子、花村多美子、齋藤輝乃、土田裕美、朝比奈ひろみ、河合王明、大石千晴、

澤口展子、上野山良子、太田明子、榎本康世、塩坂文緒、吉井葉末、前田弘子、岩堀聖子、鈴木公子、鍋田 泉、小泉さゆり、新井多佳子、山本聖子、山本紀夫、園田幸弘、塚本剛生、望月英明、小山暢之、伊藤 弘、佐藤景二、後藤 彰、大隅 進、小泉健二、増田秀道、堀 吉孝、榎永大二郎、桑山安代、堂本浩二、井出雅子、新村喜明、杉山弥生、加茂川暢彦、久保田美保子、中沢 稔、篠原宏幸、山内 恵、大柴麗子、吉永幸生、漆畑利和、千葉貴志、鈴木忠裕、長谷川智、松野謙次、萩原 健、宇佐美哲也、川森伸彦、望月公次郎、岸端博生、小林恵美子、傳刀啓至、清水憲章、中川和巳、永野照雄、海野宏治

幹事 鈴木忠裕 長谷川智

開催日 運営会議開催後の金曜日に定例開催した。

### 個人情報保護委員会

目的 静岡病院における個人情報の保護を推進すること

委員長 平松以津子

副委員長 山崎文郎、漆畑利和

委員 山田 孝、深澤誠司、中井真尚、大石千晴、北島真利子、佐野史江、久保田美保子、松野謙次、小嶋優子、柴 由香、三浦慎也、大塚 諭

幹事 長谷川智

開催記録

令和2年7月29日（水）

1 令和元年度の取組の振り返り

2 令和2年度の取組について

3 診療情報の院外持ち出し時のルールの見直しについて

4 手術時のビデオ映像の取扱いについて

令和2年12月11日（金）

1 年度内の予定について

2 部署別個人情報保護自己点検の実施について

3 個人情報保護講演会の開催について

4 電子カルテシステム内診療データの院外持ち出しのルールについて

5 手術等の映像及び画像の取扱いについて

令和3年3月29日（月）

1 令和2年度の取組の振り返り

2 令和3年度の取組について

個人情報保護講演会 令和2年12月24日（木）

テーマ 「個人情報保護 ～正しい知識とSNS利用の注意点～」

講師 SOMPOリスクマネジメント(株)

#### 総括コメント

前年度に引き続き10月～12月を「重点取組月間」とし、部署別に目標と取組内容を定め活動した。メール、FAXの誤送信ゼロや職員不在時の情報管理の徹底等、各部署が考えた目標について自発的に活動を行った。

期間中に開催した個人情報保護講演会では、前年度に続き山崎堅司氏を講師に招き、医療職によるSNS利用時の問題事例からその影響と対策を学んだ。（参加人数545名）

また、各部署及び各医師を対象に個人情報保護取組状況についてのセルフチェックを行った。

その結果をふまえ、一部の部署において委員会メンバーによる個人情報保護院内ラウンドを実施し、院内における個人情報保護の取組状況の確認と課題の抽出に取り組んだ。

さらに、前年度に課題となったUSBメモリの管理について「電子カルテシステム内診療データの院外持ち出しのルール」を改訂し、医師が学会発表や論文作成のために撮影画像などの診療情報を院外に持ち出す際のルール及び手順、注意事項について見直しを行った。

今後は、個人情報保護重点取組月間等の取組を継続するとともに、今年度の委員会で課題となった医療映像・画像の記録や保管についてガイドラインの作成を検討する等、引き続き個人情報保護に関する職員の意識向上を図っていく。（平松以津子）

#### 広報委員会

目的 病院広報誌の編集、ホームページの管理等をはじめ、広報全般について審議する。

委員長 宮下 正

副委員長 長谷川智

委員 五十嵐健康、井上暢子、高木聡子、明田弥生、梅田智之、飯田薫理、高村比路華、森下克己

幹事 中村麻衣子

#### 開催記録

令和2年5月13日（水）

1. 体温計145号（6月1日）の紙面構成について（最終確認）
2. 体温計146号（8月1日）の紙面構成について(案)
3. 院内掲示物の報告について

令和2年7月10日（金）

1. 体温計146号（8月1日）の紙面構成について（最終確認）
2. 体温計147号（10月1日）の紙面構成について
3. 体温計148号（12月1日）以降の掲載内容について

令和2年9月9日（水）

1. 体温計147号（10月1日）の紙面構成について（最終確認）

2. 体温計148号（12月1日）の紙面構成について

令和2年11月10日（火）

1. 体温計148号（12月1日）の紙面構成について（最終確認）

2. 体温計149号（2月1日）の紙面構成について

3. ホームページ更新進捗状況について

令和3年1月20日（水）

1. 体温計149号（2月1日）の紙面構成について

2. 体温計150号（4月1日）の紙面構成について

#### 総括コメント

広報活動の大きな柱の一つは、公開講座静岡市民「からだ」の学校である。これまで市街地の大会場で春秋に年2回開催するものと、出張して地域で開催（井川、梅ヶ島、清沢）するものと、いずれも大切に持って行ってきたが、令和2年度は、新型コロナ感染症禍にあって、残念ながらいずれも開催することができなかった。期待して下さっている皆様には申し訳ないことであった。目処が立ち次第、速やかに再開したい。

もう一つの柱、広報誌「体温計」については、計画どおり、隔月刊で各診療科や部署を写真・記事で紹介した。当院のコロナ関連の取組を紹介する特集も行った。

広報に求められるものは、そのときどきの要請によって変化する。今年度は新型コロナに関連するさまざまな啓発ポスターを作成し、一部は報道でも大きく取り上げられた。

また、年末には「新型コロナに負けない！」と呼びかけて、来院された皆さんにメッセージを貼り付けていただく「希望の木」の製作、展示を行い、多くの方々と心を通わせる場を提供することができた。（宮下 正）

#### ボランティア委員会

目的 静岡病院におけるボランティアの活動が円滑に行われるよう支援する。

委員長 中川和巳

副委員長 井上暢子

委員 宮下 正、縄田隆三、小泉さゆり、山本聖子、朝比奈ひろみ、恒川典子、小嶋優子、望月裕介、大長弘幸、桜田真唯、鈴木みさ

幹事 山崎実優

#### 開催記録

令和2年7月17日（金）

1. 令和2年度ボランティア委員会の活動予定について
2. ボランティア会員の活動自粛解除について
3. ワークステーション職員の応援について
4. メンテナンスフリー切り花について

5. アレンジメントフラワーについて
  6. 持続的生産強化対策事業への参加について
  7. 「お花自慢の職場宣言」事業への参加について
- 令和2年10月16日（金）

1. ボランティア活動について
  2. クリスマスコンサートについて
  3. ボランティアミーティングについて
  4. アレンジメントフラワーについて
  5. 「お花自慢の職場宣言」事業について
  6. 持続的生産強化対策事業について
  7. メンテナンスフリー切り花について
- 令和3年2月8日（月）

1. ボランティア活動実績について
2. ボランティアミーティングについて

#### 総括コメント

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、ボランティア会員の活動制限を余儀なくされ、当初予定していたクリスマスコンサートやアレンジメントフラワーの展示など実施できない行事があった。

このような状況の中、ウエス製作等の活動していただいたボランティア会員は17名、延べ人数151人であった。

本年度活動いただいたボランティア会員17名に対し、今後の活動の励みになればと、感謝の意を込め記念品を贈呈した。

新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、ボランティア会員の活動及びクリスマスコンサートやアレンジメントフラワーの展示など、工夫しながら再開していきたいと考えている。（中川和巳）

#### 5 S委員会

目的 「モノの整理・整頓に取り組むことで業務の効率化、職場間コミュニケーションの活性化を図り、医療サービスの質と職場改善により患者・来院者、職員の満足向上につなげる。」ことを目的とした5 S活動を推進する。

委員長 佐藤景二

委員 永野照雄、山田 孝、市川昭美、藤井真一、松本和恵、杉山弥生、石川和俊、戸崎誠也、島崎早苗、中山綾野

幹事 櫻井洸介

#### 開催記録

回数	開催日	議題
第1回	4月23日	新構成員について報告 令和2年度5 S説明会の開催について
第2回	5月21日	令和2年度5 S活動説明会について 今年度の開催日時等について
第3回	6月25日	5 S活動説明会の報告 今年度の啓発活動について

第4回	7月30日	文書・資料等の破棄基準の作成依頼について ラインテープの試用について
第5回	8月20日	5 Sパトロールについて 5 Sパトロール後の評価について
第6回	9月24日	5 Sパトロール担当割について 5 Sパトロール実施概要について
第7回	10月22日	ベストプラクティスの選出方法について 各部署で保管している文書・資料等リストの取扱いについて
第8回	11月26日	各部署で保管している文書・資料等リストの取扱いについて 5 Sパトロールの進捗状況について
第9回	12月24日	5 Sパトロールの進捗状況について
第10回	1月28日	5 Sパトロールの進捗状況について
第11回	2月26日	5 Sパトロールの結果について 100円ショップ掛売カードの利用について
第12回	3月25日	令和3年度5 S説明会の開催とベストプラクティス選出部署への依頼について 令和3年度5 S推進リーダー・サブリーダー選任依頼について

#### 総括コメント

5 S活動のスタートから4年目を迎え、これまでの「整理」・「整頓」・「清掃」のステージを経て、それらを維持するための「清潔」・「しつけ」へ活動を移行していくこととなる。

令和2年度は、キックオフ事業として、5月22日に5 S活動説明会を開催した。初めての試みであったが、40部署から出席していただき、5 S活動に対する意識の向上を図っていただくことができた。説明会では、5 S活動についての説明だけではなく、昨年度のパトロール結果に基づく「ベストプラクティス」選出部署への表彰と、それらの部署から取り組み内容の発表を行っていただいた。当日の発表内容や動画はe-ラーニング等に掲載し、優秀な取り組みをいつでも参考にしてもらえるようにした。

8月には、「各部署で保管している文書・資料等の破棄基準」の作成を各部署へ依頼し、取りまとめを行った。今後、このリストをアップデートする等して、各職場の文書管理の向上を図っていきたい。

また、5 S活動に必要な物品等が不足しているとの声をもらったことから、5 S活動に関わる物品の購入ができるよう、「100円ショップ掛売カード」を利用できるよう院内で調整を行った。

各部署のパトロール等を通じて、「整理」・「整頓」・「清掃」はかなりの部署で行き届いていると感じられるようになってきた。令和3年度は、それらを維持・改善していく活動を推進していきたい。（佐藤景二）

#### 地域医療支援委員会

目的 地域の診療所との連携を図ることによって、地域医療に関し必要な支援を適切に行うこと。

委員長 小野寺知哉

委員 山田 孝、前田賢人、塚本ひとみ、鈴木公子

外部委員 福地康紀、福地照元、日野昌徳、豊田和茂、  
土谷尚之、加治正行、羽根田信人、菅原清子、  
内山 泉

事務局 小嶋優子

幹 事 望月公次郎

開催記録

令和2年10月21日(木)

令和元年度の実績報告及び意見交換

令和3年2月3日(水)

令和2年度上半期の現況報告及び意見交換

## オープンシステム運営委員会

目 的 オープンシステムの運営上生じた諸問題を解決  
するため、静岡市静岡医師会・静岡市静岡歯科  
医師会と協議し、円滑な運営を図る

委員長 小野寺知哉

副委員長 山田 孝

委 員 脇 昌子、山崎文郎、前田明則、深澤誠司、  
水野薫子、縄田隆三、前田賢人、大山巖雄、  
塚本ひとみ、鈴木公子

外部委員 福地康紀、吹田浩之、岡本恭和、鈴木研一郎、  
岩崎良三、影山慎二、佐々木玲聡、河原秀俊、  
木村雅彦、望月 剛、片山貴之、豊田和茂、  
加治正行

幹事 望月公次郎、小嶋優子

開催記録 オープンシステムの現状報告及びトピックス  
を郵送

## 医療安全委員会

目 的 医療事故防止、医事紛争防止を中心としたリス  
クマネージメントの確立を図る。

委員長 山崎文郎

副委員長 縄田隆三

委 員 藤井雅人、三岡 博、田中俊夫、玉里順子、  
市川昭美、齊藤輝乃、上野山良子、鈴木公子、  
佐藤景二、後藤 彰、興津健吾、乙丸 亨、  
堂本浩二、久保田美保子、山本紀夫、小山暢之、  
中沢 稔、漆畑利和、入山雄一郎、島崎早苗、  
中川和巳、一年次研修医、二年次研修医

幹 事 納本直重

### 1. 開催記録

令和2年4月8日(水) 令和2年10月7日(水)

令和2年5月13日(水) 令和2年11月4日(水)

令和2年6月3日(水) 令和2年12月2日(水)

令和2年7月1日(水) 令和3年1月6日(水)

令和2年8月5日(水) 令和3年2月3日(水)

令和2年9月2日(水) 令和3年3月3日(水)

## 2. 議題

- (1) 作業部会報告
- (2) 事例の原因分析と医療事故防止対策の策定
- (3) インシデントレポートの集計報告
- (4) 画像診断・病理診断の未確認報告
- (5) 医療安全管理マニュアルの改定
- (6) その他(造影検査前チェックリストなど)

## 3. 各作業部会の取組

<B部会(患者誤認)>

- ・外来患者を対象に受診時の名乗り状況を調査し、  
医療者が患者確認作業を徹底することの重要性を  
医療安全研究会で報告した。

<C部会(輸血、注射)>

- ・ハイリスク薬など血行動態に影響を及ぼす薬剤の  
点滴を中止し、ルートを継続使用する場合はルー  
トに薬剤が残っていない状態にしてから使用し、  
血行動態の変動を観察するよう注意喚起した。
- ・サイレース静注(麻酔導入剤)とセレネース注  
(抗精神病剤)の誤投与を防止するため、病棟で  
サイレース静注の常備を廃止した。
- ・販売名の類似を避けるため、セレネース注のハロ  
ペリドール注への変更を検討した。

<D部会(手術、検査)>

- ・スタッフがAED機能付除細動器の使用方法を熟  
知出来るよう注意喚起した。

<E部会(転倒、転落、入浴)>

- ・転倒転落アセスメントスコアシートの見直しを検  
討した。
- ・新採用者を対象に転倒転落予防研修会を開催した。
- ・認定病院患者安全推進協議会の「転倒・転落予防  
に関する標語」に5作品応募した。
- ・各部署の転倒転落予防用具の在庫、破損状況を確  
認し、必要数を補充した。
- ・職員、患者、家族を対象に「転倒予防川柳」を募  
集し、24作品の応募があった。

<F部会(チューブ・ドレーン管理)>

- ・「血管外漏出発生時対応フローチャート」を作成  
した。
- ・紙面での「身体抑制指示・実施・観察シート」の  
運用を廃止し、プライムカルテに身体抑制の指  
示、観察項目、SOAP入力を行うよう変更した。

<G部会(処方与薬、調剤)>

- ・頓用の内服薬を投与した場合は、プライムカルテ  
の観察項目「使用頓服薬剤欄」とSOAPの両方に  
入力することとした。
- ・ワーファリン指示書の与薬サインや観察項目の錠  
数入力は、必ず担当看護師が行うように注意喚起  
した。

- ・経皮吸収型持続性癌疼痛治療剤は、貼付部位をプライムカルテの観察項目に入力し、検温時に貼付確認を行うこととした。
- ・薬剤が部署に払い出された後に処方変更の指示が出た場合は、薬剤師が部署の看護師に返却の連絡を行うこととした。

#### <医療安全管理室>

- ・遠隔読影報告書の重要所見の見落としを防ぐため、
  - ①報告書所見欄の「まとめ」を「所見」の前に表記するよう書式を変更した。
  - ②プライムカルテの「指示歴」から報告書（読影レポート）を参照しても既読にならないようにシステムを変更し、「読影確認」から参照するよう医師に周知した。
- ・ディプリバン注（プロポフォール注）の使用は添付文書を遵守し、「全身麻酔の導入及び維持」と「集中治療における人工呼吸中の鎮静」に限り使用するよう取り決めた。

#### 4. 医療安全研修会の実施

開催日	内 容
4/10	末梢静脈穿刺の安全対策（注射トラブル） 整形外科 佐野 倫生 主任科長
5/11、14、25 6/1、5、26	リスクマネージャー説明会 医療安全管理室 GRM 市川 昭美 副看護部長
5/27、28	深部静脈血栓症（DVT）予防講習会 日本コヴィディエン(株)
6/15、7/1	血糖管理とインスリン療法「安全確実な血糖管理」 内分泌・代謝内科 脇 昌子 病院長補佐
6/30	インスリン療法勉強会 内分泌・代謝内科 杉山 美帆 医長
7/6 【ビデオ上映日】 7/27、8/14、 25、28 【e-ラーニング】	第1回 医療安全講演会 「読影レポート見落としをどう防ぐか」 医療安全管理室 室長 山崎 文郎 副病院長
7/14	転倒転落予防講習会 「転倒・転落について」 リハビリテーション技術科 高塚 俊行 理学療法士
8/19	医療用放射線に関わる安全管理体制 「医療法施行規則改正の経緯」 放射線技術科 小泉 健二 科長 「医療法施行規則の一部を改正する省令の概要」 千葉 和宏 診療放射線技師
8/24 【ビデオ上映日】 9/29、10/5、6	血栓塞栓症・抗凝固療法勉強会 「血栓塞栓症の診療について」 循環器内科 服部 雄介 医長
11/27 【e-ラーニング】	第2回 医療安全講演会 「インフォームド・コンセントのタテマエとホンネ」 当院顧問弁護士 リョマホ法律事務所 岡田 隆志 先生
3/9	医療安全研究会 「死亡事例の検討」 医療安全管理室 室長 山崎 文郎 副病院長
その他	・新規採用者オリエンテーション（研修医） 医療安全管理室 室長 山崎 文郎 副病院長 ・新規採用者オリエンテーション （全職員、医師、看護師、医療補助員） ・クリニカルラダー看護教育研修 （キャリアⅠ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ） 医療安全管理室 GRM 市川 昭美 副看護部長

#### 5. 総括コメント

医療安全管理委員会は、1回/月開催されている。危

険度3a以下のインシデントレポートに関して、各作業部会で検討し、対策を立て、委員会で報告されている。また委員会ではインシデントレポートの集計も毎回報告されている。令和2年度のレポート報告件数は2,184件、そのうち医師からの報告件数は133件（6.1%）だった。今年度目標の8%には届かなかったが、前年度より増加した。今後も報告件数5000件/年、医師からの報告10%を目指していく。

医療安全講演会は例年通り2回開催した。7月6日には医療安全管理室室長山崎文郎が「読影レポート見落としをどう防ぐか」と題して院内事例を含めて講演した。また、11月27日には顧問弁護士の岡田隆志先生に「インフォームド・コンセントのタテマエとホンネ」というテーマでご講演いただいた。今年度はCOVID-19パンデミックの影響を受け、リアルタイムでの受講者は制限したが、ビデオ上映会、e-ラーニングを通じて多くの職員に受講していただいた。

あんぜん情報誌の発行、深部静脈血栓症予防講習会、インスリン勉強会、血栓塞栓症予防講習会、転倒転落予防講習会、末梢静脈穿刺勉強会なども例年通り行い、医療用放射線に関わる安全管理体制の研修が今年度から新たに開催されるようになった。医療安全研究会は、これまで部会の活動報告とミニレクチャーを行っていたが、今年度は「症例検討会」として院内死亡事例の症例報告と医療安全上の問題点を講義した。（山崎文郎）

#### 院内感染対策委員会

目的 院内における微生物の感染を積極的に防止し、院内衛生管理に万全を期す。

委員長 岩井一也

副委員長 佐野武尚、田中良枝

委員 小野寺知哉、中井真尚、橋本洋右、寺井恭彦、塚本ひとみ、花村多美子、山本紀夫、園田幸弘、佐藤景二、篠原宏幸、小泉健二、桑山安代、後藤 彰、久保田美保子、中川和巳、一年次研修医、二年度研修医

幹事 清水憲章

#### 開催記録

令和2年4月16日（木）

1. 新型コロナウイルス関連について

令和2年5月21日（木）

1. ICT会議の報告について

2. 新型コロナウイルスの対応について

令和2年6月18日（木）

1. ICT会議の報告について

令和2年7月16日（木）

1. ICT会議の報告について

令和2年8月20日（木）

1. ICT会議の報告について
2. 院内感染対策にあたるリンクドクター設置について

令和2年9月17日(木)

1. ICT会議の報告について

令和2年10月15日(木)

1. ICT会議の報告について
2. リンクドクターについて

令和2年11月19日(木)

1. ICT会議の報告について

令和2年12月17日(木)

1. ICT会議の報告について

令和3年1月21日(木)

1. ICT会議の報告について
2. 新型コロナウイルス飛沫感染予防策について

令和3年2月18日(木)

1. ICT会議の報告について

令和3年3月18日(木)

1. ICT会議の報告について
2. 新型コロナウイルスワクチン予防接種の副反応について

#### ◎講演会等

##### 第1回研修会

開催日：令和2年7月30日(木)

内容・講師

- ①口腔内の感染対策・大山巖雄医師
- ②抗菌薬はムズカシクナイ・園田幸弘

参加者：152人

ビデオ上映会

令和2年8月12日(水) 154人

令和2年8月25日(火) 144人

令和2年8月27日(木) 117人

令和2年8月28日(金) 92人

e-ラーニング：366人

##### 第2回研修会

###### (1) 第一部

開催日：令和2年11月20日(金)

内容：「COVID-19診療の手引き」(オンライン講演)

講師：国際医療福祉大学医学部 加藤康幸教授

参加者：667人(ビデオ視聴、e-ラーニング含む)

###### (2) 第二部

開催日：令和2年12月15日(火)

内容・講師：Withコロナ時代の日常診療・佐野武尚医師

参加者：1,023人(ビデオ視聴、e-ラーニング含む)

##### 第1回講演会

開催日：令和2年6月4日(木)、6月5日(金)

内容：新型コロナウイルスについて3(令和元年

度2回実施済)

講師：岩井一也医師

##### 第2回講演会

開催日：令和2年7月20日(月)

内容：新型コロナウイルスについて4

講師：岩井一也医師

##### 第3回講演会

開催日：令和2年10月20日(火)

内容：新型コロナウイルスについて5

講師：岩井一也医師

##### 第4回講演会

開催日：令和2年11月25日(水)

内容：新型コロナウイルスについて6

講師：寺井恭彦医師

#### 災害医療委員会

目的 防火管理業務及び地震防災応急計画について必要な事項を定め、火災・震災・その他の災害を想定した訓練を実施し、人命の安全並びに被害の軽減・防止を図ることを目的とする。

委員長 米沢 圭

副委員長 深澤誠司、中川和巳

委員 山崎文郎、山田 孝、玉里順子、渡邊 出、上田 翔、井上暢子、太田明子、塩坂文緒、加茂川暢彦、茶山 宣、久保田美保子、池田直人、上條智彦、矢野佳孝、篠原宏幸、堀 吉孝、長谷川智、池谷拓巳、清水憲章、大井手るな、望月 達、望月敬太

オブザーバー 森下克己、佐藤多加夫

幹事 永野照雄、大長弘幸、加地 栞

開催記録

令和2年5月18日(月)「緊急連絡メール」伝達訓練実施

第1回：令和2年6月15日(月)

(1) 5月18日実施の緊急連絡メールの結果報告

(2) 令和2年度の年間スケジュール及び机上訓練の実施について

(3) 災害時備蓄品の今後の運用について

(4) 令和2年度の消防計画変更申請について

令和2年8月13日(木)「緊急連絡メール」伝達訓練実施

第2回：令和2年8月17日(月)

(1) 8月13日実施の緊急連絡メールの結果報告

(2) 机上訓練の実施日程と実施内容について

(3) 災害時備蓄品の今後の運用について

第3回：令和2年9月14日(月)

(1) 夜間総合消防訓練の実施内容について

令和2年10月8日(木)夜間消防訓練実施(出火想定：東館11階)

第4回：令和2年10月12日(月)

- (1) 第1回机上訓練の報告について
- (2) 夜間消防訓練の報告について
- (3) 非常食の配付について

第5回：令和2年11月9日（月）

- (1) 第1回机上訓練（各所属）の報告について
- (2) 災害医療講習会の内容（案）について
- (3) 「緊急連絡メール」情報伝達訓練の結果報告

第6回：令和2年12月14日（月）

- (1) 第2回机上訓練の訓練内容について
- (2) 衛星通信サービスの今後の利用について
- (3) 1月17日に配信予定の緊急連絡メールについて

令和3年1月17日（日）「緊急連絡メール」伝達訓練実施

第7回：令和3年1月18日（月）

- (1) BCPの改正について
- (2) 令和3年1月17日実施の緊急連絡メールの結果報告について
- (3) 第2回総合防災訓練の実施について
- (4) 衛星電話の機種変更について

第8回：令和3年2月15日（月）

- (1) 「2011.3.11東日本大震災初動の記録」DVD上映会の開催について
- (2) 非常食の配布について
- (3) 令和3年度の災害医療委員会の活動予定について
- (4) 3月11日に配信予定の緊急連絡メールについて

令和3年3月11日（木）「緊急連絡メール」伝達訓練実施  
総括コメント

DMAT活動としては、COVID-19の流行に伴い予定されていた技能訓練・研修がすべて中止になった。新規にDMAT登録予定の職員が3名控えており、早期の研修再開がのぞまれる。実活動としては冬季のCOVID-19第2波の際に、静岡市保健所にて近隣病院のDMAT隊員とともにCOVID-19陽性患者・市内病院の入院患者の情報収集・ロジ活動を行った。

院内での活動も3密の回避のために、規模を縮小して訓練・講習を行った。令和2年9～10月に各部署・所属で分散して震災対応の机上訓練を行ったが、延べ100名以上の職員に参加していただけた。講習としては令和3年3月に石巻赤十字病院の「2011.3.11東日本大震災初動の記録」のDVDを6日間上映した。災害医療に対する強い動機付けになったと思われた。緊急連絡メールによる情報伝達訓練を計4回行った。各部署とも登録率・応答率とも大幅に改善した。異動の多い医局での登録率の改善が必要と思われた。令和2年10月8日には東11階食堂内での出火を想定した夜間総合消防訓練を行った。

困難の伴う1年であったが、災害医療委員会スタッフ

が創意工夫して訓練・啓蒙活動を行った。今後も災害拠点病院としての能力を維持していきたいと考える。

（米沢 圭）

#### 臨床研修管理委員会

目的 臨床研修プログラム委員会で作成・変更された初期臨床研修プログラムについて、審議・承認するとともに、臨床研修医の募集・採用および修了に関する審議・承認をおこなう。

委員長 小野寺知哉

副委員長 脇 昌子

委員 前田明則、山田 孝、塚本ひとみ、縄田隆三、前田賢人、五十嵐健康、桑山安代、浅利亜規代、吉永幸生

外部委員 藤井浩治、関根裕司、西ヶ谷和之、西村 勉、倉澤豊身、平田健雄、仲田和正、田所康之、仲地 健、加治正行、秋山仁一郎、遠藤博之、影山慎二、佐々木玲聡、杉山直史、俵 史子、袴田光治、吹田浩之、堀田宗文、松木 啓、松田昌幸、脇 理一郎、赤堀文宣、野崎 怜、塩澤和佳夫、内山 泉

協力型臨床研修施設管理者および協力施設の臨床研修実施責任者

研修医代表 出石悠真、川口大貴、佐藤翔太、藤本貢輔、山崎圭介、渡邊宏希、浅井彩乃、柴田知佐、日比里彩子、森田英典、高橋元気、霜多 凌

幹 事 松野謙次、佐藤隆敏、杉山みどり

開催記録

第1回 令和2年7月13日（月）

- 議題
- 1 静岡病院 初期臨床研修プログラムの理念、基本方針、研修体制について
  - 2 静岡病院 臨床研修管理委員会規約の一部改正
  - 3 令和2年度臨床研修状況の実績報告
  - 4 令和3年度採用臨床研修医の募集等
  - 5 卒後臨床研修評価機構（JCEP）訪問調査の受審結果について
  - 6 質疑、意見交換、その他連絡事項

第2回 令和2年11月16日（月）

- 議題
- 1 令和2年度臨床研修状況実績報告
  - 2 令和2年度研修の評価
  - 3 令和3年度採用に係る令和2年度初期臨床研修医採用試験の状況
  - 4 質疑、意見交換、その他連絡事項

第3回 令和3年3月16日（火）

- 議題
- 1 令和2年度臨床研修状況実績報告
  - 2 2年次研修医の進路予定について
  - 3 令和2年度リクルート活動実績

- 4 令和3年度初期臨床研修事業計画
- 5 令和4年度採用（令和3年度試験）初期臨床研修医募集について
- 6 後期研修事業関連
- 7 2年次研修医に係る修了認定の審議について
- 8 質疑・意見交換・その他連絡事項

#### 総括コメント

当院職員の他、外部委員として協力型臨床研修施設管理者および協力施設の臨床研修実施責任者に参加いただき、初期臨床研修プログラムや、臨床研修医の採用・進級・修了等について審議した。2019年2月6日に訪問調査を受けたNPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）から、同年3月27日付で「認定4年」の評価結果を得たことを報告した。臨床研修管理委員会規約の一部を改正し、今年度よりオンラインによる委員会参加を可能とし、全3回の会議では遠隔地の委員にはWeb参加頂き、2年次研修医全員の研修修了と2022年度採用初期臨床研修医募集定員数について承認した。（小野寺知哉）

#### 臨床研修運営委員会

**目的** 静岡市立静岡病院における臨床研修の円滑な運営をおこなうことを目的に設置する。

**委員長** 脇 昌子

**委員** 前田明則、縄田隆三、前田賢人、中井真尚、岩井一也、濱村啓介、五十嵐健康、渡邊 出、米澤真澄、米沢 圭、藤井雅人、澤田智一、嶋田靖司、玉里順子、池谷綾子、市川昭美、太田明子、桑山安代、榎永大二郎、浅利亜規代、川森伸彦

**研修医** 研修医代表2名

**幹事** 松野謙次、佐藤隆敏、杉山みどり

**開催日** 原則として、毎月第2・第4水曜日に開催

#### 開催記録

第1回	令和2年4月15日（水）
第2回	令和2年5月27日（水）
第3回	令和2年6月10日（水）
第4回	令和2年6月24日（水）
第5回	令和2年7月8日（水）
第6回	令和2年7月22日（水）
第7回	令和2年8月26日（水）
第8回	令和2年9月9日（水）
第9回	令和2年9月23日（水）
第10回	令和2年10月14日（水）
第11回	令和2年10月28日（水）
第12回	令和2年11月11日（水）
第13回	令和2年11月25日（水）
第14回	令和2年12月9日（水）
第15回	令和2年12月23日（水）
第16回	令和3年1月13日（水）

第17回	令和3年1月27日（水）
第18回	令和3年2月10日（水）
第19回	令和3年2月24日（水）
第20回	令和3年3月10日（水）
第21回	令和3年3月24日（水）
全21回開催	

#### 総括コメント

教育研修管理センターが中心となり、主に診療部・看護部・医療支援部からの委員で構成され、臨床研修に関する広範な課題に対応し、臨床研修が円滑で充実したものになるよう図った。また、2021年度の研修医採用に向けては、コロナ禍により従来の院外リクルート活動が中止となる中、当院独自のオンライン説明会などを開催した。マッチングでは募集人数13人に対し13人がマッチし、全員が国家試験合格後、採用に至った。

本委員会のメンバーは、臨床研修管理委員会を担う委員が多く、研修医の採用、進級、修了等に関する審議・認定に関わった。今年度は、2020年度版医師臨床研修指導ガイドラインに則り、新たに4週間の外来研修を組み込むなどのプログラム更新や研修医メンター制の導入、市内臨床研修4病院合同Web説明会の開催などに取り組んだ。（脇 昌子）

#### シミュレーションラボ委員会

**目的** シミュレーションラボ室の適正な運営・実習プログラムや機器等の企画検討

**委員長** 五十嵐健康

**副委員長** 村田耕一郎、橋本洋右

**委員** 山田 孝、縄田隆三、玉里順子、濱村啓介、池上 聡、野口哲哉、米澤真澄、原 秀、寺井恭彦、池谷綾子、岩堀聖子、内藤豊貴、佐藤隆敏、佐藤あゆみ

#### 開催記録

令和2年10月29日（木）

1. 令和元年度プログラム運営実績
2. 令和2年度研修プログラム全体計画・運営状況
3. シミュレーションラボ室で使用する研修機器等の購入希望について

#### 総括コメント

当委員会は、シミュレーションラボ室が院内多職種の職員や院外医療関係者に周知され、多くの方に活用されることで、最終的には患者さん、市民の皆さんに貢献する一助となるべく、その具体的な運用方法について協議している。現行プログラムは、①初期研修医や看護師等を対象とした、医療現場に必須の技術習得を目指したプログラム、②専門医を目指す専攻医や、高度な技術習得を目指す看護師等を支援するプログラム、③看護師等の復職を支援するプログラムの3カテゴリーに分類される

が、多くのプログラムが活発に運営されている一方で、一部稼働率の低いプログラムも混在している。前者では、シミュレーターの破損や老朽化が問題となっており、使用方法のルール作りや、新たなシミュレーターの購入計画などについて協議した。JCEP審査結果も踏まえ、学習の“ゴール”を設定し、実効性の高い運用を行うことが求められていることを認識し、目標設定の手順や支援の方法について確認した。

稼働率の低いプログラムの活性化、初期研修医・専攻医のニーズに応じたプログラムの運営、院外利用者の促進、学会認定講習会開催の拡大、新しいプログラムの開発、他施設と同機能部署との連携など、多くの課題について引き続き取り組んでいく。(五十嵐健康)

### 治験審査委員会

目的 当院における治験（製造販売後臨床試験を含む）の実施及び継続等について、倫理的及び科学的妥当性の観点から審査を行う。また、製造販売後調査（使用成績調査、副作用感染症報告）、及び新規院内製剤等の実施についても検討を行う。

委員長 前田賢人

副委員長 山本紀夫、後藤 彰

委員 山田 浩、坂井美文、深澤誠司、五十嵐健康、大石千晴、中川和巳、佐野史江、大倉瑞穂

幹事 大隅 進、鈴木芳治、北島真利子、井口雄希  
開催記録

開催日	新規治験・製造販売後調査	治験継続審議 (安全性報告等)
① 4月9日	コロナの影響で開催中止	—
② 6月11日	【製造販売後調査】 リツキサン点滴静注（中外製薬）：副作用・感染症報告（腎臓内科） キイトルーダ点滴静注（MSD）：副作用・感染症報告（呼吸器内科） コセンテックス皮下注（ノバルティスファーマ）：副作用・感染症報告（皮膚科） メトレプチン皮下注用（塩野義製薬）：一般使用成績調査（内分泌代謝内科） レンビマカプセル（エーザイ）：特定使用成績調査（耳鼻咽喉科・頭頸部外科） レパーサ皮下注（アステラス製薬）：特定使用成績調査（循環器内科）	50件
③ 7月9日	【製造販売後調査】 サビーン点滴静注（キッセイ薬品）：一般使用成績調査（呼吸器内科）	8件
④ 8月13日	【治験】 ・ノーベルファーマ株式会社の依頼による急性期帯状疱疹痛を有する患者を対象としたNPC-06の第Ⅱ相ブラセボ対照二重盲検比較試験 ・塩野義製薬株式会社の依頼によるS-005151の急性期脳梗塞患者を対象とした第2相二重盲検比較試験 【製造販売後調査】 デムサーカプセル（小野薬品）：特定使用成績調査（内分泌代謝内科） ガザイバ点滴静注（中外製薬）：特定使用成績調査（血液内科） ヘムライブラ皮下注（中外製薬）：特定使用成績調査（血液内科）	8件

⑤ 10月8日	【製造販売後調査】 ロープレナ錠（ファイザー製薬）：特定使用成績調査（呼吸器外科） コアバルブ Evolut R（日本メドトロニック）：一般使用成績調査（循環器内科） ベクルリー（ギリアド）：一般使用成績調査（感染管理室・消化器内科） ジャカピ錠（ノバルティスファーマ）：特定使用成績調査（血液内科） コララン錠（小野薬品）：特定使用成績調査（循環器内科） タリージェ錠（第一三共）：特定使用成績調査（整形外科）	23件
⑥ 11月12日	【製造販売後調査】 ベクルリー（ギリアド）：一般使用成績調査（感染管理室・消化器内科・呼内・循内・腎内） ジフォルタ注射液（ムンディファーマ）：一般使用成績調査（血液内科）	16件
⑦ 12月10日	【製造販売後調査】 トレアキシ点滴静注用（エーザイ）：副作用・感染症報告（血液内科） オゼンピック皮下注（ノボルディスクファーマ）：特定使用成績調査（内分泌代謝内科）	13件
⑧ 1月14日	【製造販売後調査】 キイトルーダ点滴静注（MSD）：副作用・感染症報告（呼吸器内科） タリージェ錠（第一三共）：特定使用成績調査（整形外科） アデムパス錠（バイエル薬品）：一般使用成績調査（循環器内科）	12件
⑨ 3月11日	【製造販売後調査】 リムバーザ（アストラゼネカ）：副作用・感染症報告（産婦人科） ベクルリー（ギリアド）：一般使用成績調査（感染・消内・呼内・循内・腎内・血内・内分泌・代謝内科） バベンチオ（メルクバイオファーマ）：特定使用成績調査（泌尿器科）	9件

### 総括コメント

令和2年度は8回の委員会が開催され、新規治験審議が2件、治験継続審議139件、新規製造販売後調査12件の審議を行った。報告事項として48件の報告を実施した。今年度は継続中の治験6件のうち5件が年度中に終了となり、新たに3件が始まり、治験実施数は4件となった。

新規治験受託数を増やすため、3社（シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社、株式会社EP総合、ノイエス株式会社）のSMO（Site Management Organization：治験施設支援機関）と業務提携をしている。実施可能性調査数も維持できており今後の新規受託につながるものと考えられ、次年度も継続して契約する予定である。（前田賢人）

### 医学系研究等倫理審査委員会

目的 静岡市立静岡病院における医療の倫理性と患者の人権保護に関する基本的事項を審議し、病院職員の倫理意識の向上に資することを目的とする。

委員長 前田明則

副委員長 水野薫子

委員 池上 聰、五十嵐健康、池谷綾子、山本紀夫、  
佐藤景二、吉永幸生、中川和巳  
外部委員 横濱竜也、南 雅司、佐々木美晴  
事務局 北島真利子、井口雄希  
開催記録

回	開催日	受付番号	案件（新規申請・変更申請のみ）	科
1	4月23日 迅速審査	20-01	実臨床での小児ダニ舌下免疫療法の継続率および効果に関する研究（COI案件）	小児科
		20-02	再発または遠隔転移を有する口腔癌におけるニボルマブの安全性と有効性に関する研究	口腔外科
		20-03	コロナウイルス肺炎とインフルエンザウイルス肺炎、非ウイルス性市中肺炎の臨床像に関する多施設共同研究	呼吸器内科
		20-04	口腔癌へのペブレオマイシン併用低線量照射による局所領域制御の予測因子の検討（学会発表）	放射線治療科
		20-05	心室中隔穿孔の予後とリスク因子（論文）	循環器内科
		20-06	末梢静脈留置カテーテルの留置における静脈可視化の効果に関する検証（変更申請）	看護部
		20-07	希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	小児科
		20-08	ICUにおけるせん妄発症に関連する因子の調査	看護部
		2	5月14日 迅速審査	20-09
3	5月28日	20-10	EGFR遺伝子変異陽性再発・進行非小細胞肺癌患者に対する免疫チェックポイント阻害剤投与後のEGFRチロシンキナーゼ阻害剤再投与時の免疫細胞動態を評価する多施設共同前向き観察研究（COI案件）	呼吸器内科
		20-36	虚血性心疾患病診連携がPCI後の二次予防に与える影響（論文）	循環器内科
4	6月25日 迅速審査	20-37	National Clinical Databaseを用いた日本における未破裂脳動脈瘤の治療成績に関する後向き観察研究（COI案件）	脳神経外科
		20-38	Gruppo Bioimpianti社 人工骨頭製品の製造販売後調査（COI案件）	整形外科
		20-39	頸椎由来の頸肩腕症状に対する薬物治療の臨床経済研究	整形外科
		20-40	静岡市立静岡病院における口腔外科疾患の臨床統計学的検討	口腔外科
		20-41	浜松医科大学および関連病院における頸椎ライメント異常や頸髄症に対する患者立脚型アンケート法によるQOLの研究（変更申請）	整形外科
		20-42	骨粗鬆症症例におけるラグスクリーアの固定性に関する調査（変更申請）	整形外科
5	7月30日	20-43	電子診療録情報を基にしたデータベース構築の取り組み	医事経営室
		20-38	Gruppo Bioimpianti社 人工骨頭製品の製造販売後調査（再審議）	整形外科
		20-50	日本リマ社手術器械の操作性について（COI案件）	整形外科
6	8月20日 迅速審査	20-51	EVAR（Endovascular Aortic Aneurysm Repair：大動脈ステントグラフト内挿術）による低侵襲血管内治療のための画像支援システムの研究開発	心臓血管外科
		20-52	高尿酸血症を合併した慢性腎臓病患者に対する積極的尿酸降下療法の有効性を検証するランダム化比較試験（TARGET-UA試験）（変更申請）	内分泌・代謝内科
		20-53	日本リマ社手術器械の操作性について（変更申請）	整形外科

6	8月20日 迅速審査	20-54	既治療のEGFR遺伝子変異陽性進行期非扁平上皮非小細胞肺癌患者におけるドセタキセル＋ラムシルマブ併用療法 第II相試験（HSR1701）（変更申請）	呼吸器内科
		20-55	原発性自然気胸に対する胸腔鏡下ブラ切除後の再発リスク低下に最も有効な追加手技に関する研究	呼吸器外科
		20-56	Gruppo Bioimpianti社 人工骨頭製品の使用実態調査（観察研究）	整形外科
7	9月3日 迅速審査	20-57	COVID-19感染患者治療の疫学的調査	呼吸器内科
		20-58	頸椎由来の頸肩腕症状に対する薬物治療の臨床経済研究（変更申請）	整形外科
		20-59	日本食摂取の脂質代謝および慢性炎症改善効果検証のための無作為化比較介入研究後の追跡調査-リバウンド要因の検討-	内分泌・代謝内科
		20-60	COVID-19に関するレジストリ研究（変更申請）	感染管理室
		20-61	上部内視鏡検査における不安や苦痛の軽減を目指した取り組み～外来患者に対する検査前のオリエンテーションの充実～（変更申請）	看護部
		20-62	せん妄予測としての栄養評価の有効性の検討	看護部
8	9月24日	20-63	微小肺癌に対するマイクロチップを用いた術前マーキング方法（新規治療）	呼吸器外科
		20-64	塩化亜鉛液を用いた上咽頭擦過療法（EAT）（保険適応外医療）	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
9	10月1日 迅速審査	20-70	小児科領域における舌下免疫療法の有用性の検討	小児科
		20-71	非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口抗凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法：多施設、前向き、無作為化比較試験（OPTIMA-AF Trial）（COI案件）	循環器内科
		20-72	乳癌腋窩リンパ節転移例への術後放射線治療における鎖骨上窩照射の検討（学会発表）	放射線治療科
		20-73	肥大型心筋症患者の早期心不全、心房細動スクリーニングを目指す多施設レジストリ（変更申請）	循環器内科
		20-74	補助循環用ポンプカテーテルに関するレジストリ事業	循環器内科
10	10月29日 迅速審査	20-75	レセプトおよびDPCデータを用いた循環器疾患における医療の質の向上に資する研究	循環器内科
		20-76	実地臨床におけるエベロリムス溶出性ステントとシリウムス溶出性ステントの有効性および安全性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較試験：長期追跡試験（RESET Trial: Extended Follow-up Study）（変更申請）	循環器内科
		20-77	入退院支援室における効果的な入院支援のあり方を考える 一患者・家族の捉えた入院支援の現状から見えてきた課題-（変更申請）	看護部
		20-78	日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構（JOHBOC）BRCA遺伝子検査に関するデータベースの作成（家系登録事業）の2021年の規約変更・書類書式変更の届け出（変更申請）	外科・消化器外科
		20-79	経皮的ステントグラフト内挿術後の患者への自己管理指導の効果（変更申請）	看護部
		20-80	当院における進行期/再発DLBCLへの緩和照射の治療成績（学会発表）	放射線治療科
11	11月11日 11月19日 11月24日 12月3日 迅速審査	20-81	CLEAN-NETの導入（新規治療）	外科・消化器外科
		20-82	高齢者の脊椎・脊髄損傷に関する多施設後向き研究	整形外科
		20-83	間質性肺疾患の急性増悪に対する治療実態と臨床経過の調査-前向き観察研究-	呼吸器内科
		20-84	糖尿病透析患者における食事関連ライフスキル尺度の開発	看護部

11	11月11日 11月19日 11月24日 12月3日 迅速審査	20-85	2021年に外科治療を施行された肺癌症例のデータベース研究：肺癌登録合同委員会 第11次産業	呼吸器外科
		20-86	せん妄予測としての栄養評価の有効性の検討（変更申請）	看護部
		20-87	高齢者心不全患者の心不全の急性増悪による再入院に関する因子の検討（変更申請）	リハビリテーション技術科
		20-88	抗アミノアシルトRNA合成酵素抗体陽性の多発性筋炎/皮膚筋炎に伴う間質性肺疾患におけるステロイド単独療法 対 ステロイド・タクロリムス併用療法の前向き比較試験（変更申請）	呼吸器内科
		20-89	消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築（変更申請）	消化器内科
		20-90	肥大型心筋症患者の早期心不全、心房細動スクリーニングを目指す多施設レジストリ（変更申請）	循環器内科
		12	12月24日 迅速審査	20-91
20-92	SARS-CoV-2感染患者におけるウイルス関連蛋白の検出、および感染者のウイルス関連蛋白に対する抗体の評価			血液内科
20-93	レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査（J-ASPECT study）			脳神経外科
20-94	レジオネラ肺炎診断におけるリポテスト®レジオネラとイムノキャッチ®レジオネラの有用性の比較検討～多施設共同前向き観察研究～			呼吸器内科
20-95	心房細動合併症患者における冠動脈インターベンション施行後の抗血栓療法の実態調査（REVEAL AF-PCI Registry）（変更申請）			循環器内科
20-96	ICUにおけるせん妄発症に関連する因子の調査（変更申請）			看護部
20-97	夜間の音に視点をのいた療養環境への改善への試み（変更申請）			看護部
20-98	カテーテルアブレーション症例全例登録プロジェクト（J-ABレジストリ）（変更申請）			循環器内科
20-99	肝臓・非代償性肝硬変データベース構築			外科・消化器外科
13	1月28日			20-92
14	2月4日 迅速審査	20-110	静岡県糖尿病性腎症重症化予防プログラム専門医療機関による患者データベース構築に関する観察研究	内分泌・代謝内科
		20-111	一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業（Japan Neurosurgical Database：JND）	脳神経外科
		20-112	脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究	脳神経外科
		20-113	がん合併の低リスク肺塞栓症患者の最適な抗凝固療法との投与期間を検証する研究（ONCO PE trial）（COI案件）	循環器内科
		20-114	日本人2型糖尿病患者におけるエンバグリフロジンの心臓自律神経活動への効果に関する臨床研究（EMPYREAN）（変更申請）	内分泌・代謝内科
		20-115	大動脈弁形成術に対する全国アンケート調査	心臓血管外科
		20-116	ICUにおけるせん妄発症に関連する因子の調査	看護部
15	3月4日 迅速審査	20-117	高尿酸血症患者を対象としたフェブキソスタット製剤の脳心腎血管関連イベントに関する詳細な検討	内分泌・代謝内科
		20-118	高尿酸血症を合併した慢性腎臓病患者に対する積極的尿酸降下療法の有効性を検証するランダム化比較試験（TARGET-UA試験）（変更申請）	内分泌・代謝内科
16	3月18日 迅速審査	20-119	非代償性C型肝硬変に対するエプクルーサー®の初期使用感（学会発表）	消化器内科

16	3月18日 迅速審査	20-120	当院における高トリグリセリド血症起因性膵炎の臨床的特徴（学会発表）	消化器内科
		20-121	食道癌に対する放射線治療の症状緩和効果を評価する観察研究（変更申請）	放射線治療科
		20-122	全国放射線治療症例に基づく放射線治療の実態調査および質調査（変更申請）	放射線治療科
		20-123	局所進行非小細胞肺癌に対する根治的放射線治療法+地固めdurvalumab療法の多施設後向き研究（変更申請）	放射線治療科
		20-124	希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究（変更申請）	小児科

### 総括コメント

今年度は本審査4回、迅速審査12回を行った。審査件数は合計76件で、新規案件は46件であった。内訳としては新規治療2件、保険適応外医療1件、臨床研究（学会、論文発表等含む）43件となっている。実施中試験の実態調査は継続して行い、この結果が当委員会に報告された（終了報告19件、進捗報告46件）。（前田明則）

### 安全対策委員会

目的 患者さん等の来院者及び職員の安全確保の推進  
委員長 吉永幸生  
副委員長 水野薫子  
委員 市川昭美、山本紀夫、佐藤景二、望月公次郎、萩原 健、傳刀啓至  
幹事 千葉貴志

※令和2年度は懸案事項がなかったため開催なし。

### 学術研修委員会

目的 学術研修委員会では院内各部門の教育研修計画（予定実績）の進捗状況確認及びその情報共有をおこなっている。なお、令和元年度より、これまで職員の自主活動として行ってきた静岡病院医療学術集談会を継承した静岡病院学術発表会を開催している。

委員長 脇 昌子  
副委員長 前田明則  
委員 松本芳博、野中裕康、土屋恭子、小林敏樹、黒石健吾、児玉圭太、池谷綾子、塩坂文緒、浅利亜規代、牧野泰枝、野田 緑、森下克己、松野謙次  
幹事 佐藤隆敏

### 開催記録

第1回 令和2年12月2日（水）

議題1. 令和元年度各科別研修実績ならびに令和2年度の実施予定について

議題2. 海外演題発表奨励金交付について

議題3. 「令和2年度学術発表会」の開催について

### 総括コメント

令和2年度はCOVID-19感染拡大の影響もあり、例年

実施している海外演題発表奨励金の交付事業の実施が取りやめとなった。そのため学術発表会についても国内学会での発表演題を中心に選定し、ポスター発表のみ実施した（詳細：静岡病院学術発表会）。このように、今年度は学術活動もCOVID-19感染症の影響を大きく受け、規模を大幅に縮小することとなった。（脇 昌子）

#### 勤務環境改善委員会

目的 医師等の負担軽減等環境改善に関する計画を策定し、各部署に計画の実施を促すことにより環境改善につなげる。

委員長 吉永幸生

副委員長 水野薫子、小柳津竜樹

委員 前田明則、中井真尚、松本芳博、村田耕一郎、池谷綾子、井上暢子、園田幸弘、佐藤景二、小林恵美子、萩原 健、川森伸彦、望月敬太、傳刀啓至、大倉瑞穂、馬場英明

幹事 鈴木忠裕、宇佐美哲也

#### 開催記録

令和2年4月15日（水）

議題1. 勤務医負担軽減計画の令和元年度評価と令和2年度目標について

令和2年7月21日（火）

議題1. 医療技術職員及び看護師負担軽減計画の令和元年度評価と令和2年度目標について

令和3年3月17日（水）

議題1. 負担軽減計画の令和2年度評価について  
議題2. 医師の働き方改革について

#### 総括コメント

医師等病院勤務職員の勤務環境の改善について協議した。（吉永幸生）

#### 栄養サポートチーム Nutrition Support Team, NST

目的 入院患者の栄養状態の問題点抽出と評価を行い、改善と早期快復に向け活動していくこと。

リーダー 濱村啓介（消化器内科）

サブリーダー 佐野武尚（呼吸器内科）、久保田美保子（栄養管理科）

スタッフ 前田賢人（外科・消化器外科）

池上 聡（耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

澤口展子（看護部）、花村多美子（看護部）、

海老名哲生（看護部）、鈴木菜々（看護部）

平川奈津美（薬剤科）、成田佳子（薬剤科）、

袴田知里（検査技術科）、

岩崎佳乃子（リハビリテーション技術科）、

富永真由（リハビリテーション技術科）、

牧野泰枝（リハビリテーション技術科）、

山根康嗣（リハビリテーション技術科）、

明田弥生（総合相談センター）、  
新藤礼花（医事課）、佐藤七恵（栄養管理科）、  
谷本佳史（栄養管理科）

幹事 太田紘之（栄養管理科）

#### 開催記録

令和2年4月2日（木）

1. NST回診の経過報告
2. 平成31年度回診報告
3. 年間計画について

令和2年5月7日（木）

1. 院内講習会
2. 年間計画
3. 掲示用ポスター
4. NST回診対象者の抽出方法検討

令和2年6月4日（木）

1. 院内講習会、市民公開講座
2. チーム編成
3. その他

令和2年7月2日（木）

1. NST回診の経過報告
2. 経管栄養（食品）のオーダー方法について
3. アイソトニックゼリーの廃止について
4. その他

令和2年8月6日（木）

1. NST回診の経過報告
2. 栄養治療実施計画 兼 栄養治療実施報告書について
3. 合同カンファレンスについて
4. その他

令和2年9月3日（木）

1. NST回診の経過報告
2. 栄養治療実施計画 兼 栄養治療実施報告書について
3. アイソカルサポートプランの一部変更について
4. その他

令和2年10月1日（木）

1. NST回診の経過報告
2. 回診・カンファレンス・委員会日程
3. その他

令和2年11月5日（木）

1. NST回診の経過報告
2. 院内講習会
3. その他

令和2年12月3日（木）

1. NST回診の経過報告
2. 退院先療養施設等へのアンケート調査について
3. その他

令和3年1月7日(木)

1. NST回診の経過報告
2. 退院先療養施設等へのアンケート調査について
3. その他

令和3年2月4日(木)

1. NST回診の経過報告
2. 退院先療養施設等へのアンケート調査について
3. その他

令和3年3月4日(木)

1. NST回診の経過報告
2. PPN製剤紹介
3. その他
  - ①今年度のNST回診実績は79件(実患者数70名)であった。
  - ②例年内院講習会を7月に開催しているが、令和2年度はコロナ禍のため、集合型での勉強会は開催しなかった。代わりに、e-ラーニングを実施した(資料1、2)。
  - ③令和2年度から各病棟へ栄養サポートチームに依頼する基準をポスターで掲示。病棟看護師、病棟担当栄養士と連携し、NSTへの依頼が必要な患者を抽出した。病棟からの依頼患者は昨年度の2.5倍であった。(16件→42件)。褥瘡対策チーム、摂食嚥下支援チームと連携した介入ができたのは9件のみだったが、今後は、件数を増やす予定。(濱村啓介)

(資料1)

### 栄養サポートチーム(NST)講習会

★今年度はe-ラーニングで行います。  
 第一部：経管栄養に関する一般的な情報をガイドラインをもとに紹介。  
 第二部：昨年度の市民公開講座の講演内容です。

**日時：既に閲覧可能です。|時間程度(①24分②33分)**

① **経管栄養について**  
 ~静脈経腸栄養ガイドラインを中心に~  
 栄養管理科 NST担当栄養士

② **「急性期から回復期への栄養について」**  
 講師 消化器内科  
**濱村 啓介 科長**




\*業務ではありません。 主催：栄養サポートチーム(NST) 内線2061

(資料2)

<院内講習会 (e-ラーニング)>

- ①経管栄養について
 

栄養管理科 太田 紘之 管理栄養士
- ②急性期から回復期への栄養について
 

消化器内科 濱村 啓介 医師

NST報告

一 診療科別NST回診件数一

診療科	H30年度	R元年度	R2年度
腎臓内科	0	0	3
血液内科	1	0	1
呼吸器内科	18	14	14
消化器内科	17	6	12
循環器内科	5	11	16
内分泌代謝内科	2	0	0
外科・消化器外科	5	3	8
整形外科	8	0	7
形成外科	0	1	0
脳神経外科	1	0	6
呼吸器外科	2	1	0
心臓血管外科	11	10	4
皮膚科	0	0	0
泌尿器科	0	2	2
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	7	19	6
口腔外科	1	0	0
産科	0	0	0
合 計	78	67	79

#### 医療倫理委員会

目的 患者の権利に関すること、医療者としての職業倫理に関すること及び臨床における倫理に関することを審議する。

委員長 小野寺知哉

副委員長 前田明則

委員 脇 昌子、山崎文郎、山田 孝、濱村啓介、岩井一也、塚本ひとみ、鍋田 泉、原木久美、山本紀夫、佐藤景二、吉永幸生、漆畑利和

幹事 野田 緑

開催記録

令和2年度 審議案件なし

#### 衛生委員会

目的 労使が互いに協力し、労働条件の改善等を通じて職場における職員の安全と健康を確保するための審議をする。

委員長 吉永幸生

産業医 五十嵐健康

衛生管理者 矢野真梨子、岡村栄徳、疋野友紀乃、星野明宏

委員 萩原 健、漆畑利和、塚本ひとみ、園田幸弘、佐藤景二、若林由香里、望月雅貴、庄也寸志、篠原宏幸、芹澤さつき

施設管理者 馬場英明

幹事 川森伸彦、杉山つかさ、山崎実優

委員会開催日及び会議内容

回	実施日	実施内容
第1回	4月27日(月)	令和2年度開催日程及び院内巡視年間計画について 令和2年3月分時間外実績報告について 産業医面談の結果報告について 令和2年3月分職員の被ばく量の報告について 職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリストについて 院内巡視事前セルフチェックの実施について 院内巡視(西館12階・東館12階・東館11階・東館10階)
第2回	5月25日(月)	令和2年4月分時間外実績報告について 令和2年4月分職員の被ばく量の報告について 院内巡視(西館12階・東館12階・東館11階・東館10階)結果について 院内巡視(東館9階・東館7階・東館6階)
第3回	6月29日(月)	令和2年5月分時間外実績報告について 令和2年5月分職員の被ばく量の報告について 院内巡視(東館9階・東館7階・東館6階)結果について 院内巡視(東館8階・東館5階・東館4階)
第4回	7月27日(月)	令和2年6月分時間外実績報告について 令和2年6月分職員の被ばく量の報告について 院内巡視(東館8階・東館5階・東館4階)結果について 院内巡視(東館3階・東館2階)
第5回	8月31日(月)	令和2年7月分時間外実績報告について 令和2年7月分職員の被ばく量の報告について 院内巡視(東館3階・東館2階)結果について 院内巡視(東館1階・東館地階・西館地階)
第6回	9月28日(月)	令和2年8月分時間外実績報告について 令和2年8月分職員の被ばく量の報告について 院内巡視(東館1階・東館地階・西館地階)結果について 院内巡視(西館1階)
第7回	10月26日(月)	令和2年9月分時間外実績報告について 令和2年9月分職員の被ばく量の報告について 院内巡視(西館1階)結果について 院内巡視(西館1階・西館2階)
第8回	11月30日(月)	令和2年10月分時間外実績報告について 令和2年10月分職員の被ばく量の報告について 院内巡視(西館1階・西館2階)結果について 院内巡視(西館3階・西館4階)
第9回	12月24日(木)	令和2年11月分時間外実績報告について 令和2年11月分職員の被ばく量の報告について 院内巡視(西館3階・西館4階)結果について 院内巡視(西館5階・西館6階・西館7階)
第10回	1月25日(月)	令和2年12月分時間外実績報告について 令和2年12月分職員の被ばく量の報告について 院内巡視(西館5階・西館6階・西館7階)結果について 院内巡視(西館9階・西館10階・西館11階)
第11回	2月22日(月)	令和3年1月分時間外実績報告について 令和3年1月分職員の被ばく量の報告について 院内巡視(西館9階・西館10階・西館11階)結果について 院内巡視(西館12階・東館12階・北館1階)

第12回	3月29日(月)	令和3年2月分時間外実績報告について 令和2年2月分職員の被ばく量の報告について 院内巡視(西館12階・東館12階・北館1階)結果について 院内巡視(北館2階・北館3階・北館4階)
------	----------	---

総括コメント

職場における職員の健康と安全を確保するため、時間外勤務状況の把握、有給休暇等の取得実績の確認、職員の放射線被ばく線量の報告及び確認、勤務環境改善のための院内巡視及び対策等を行った。

長時間勤務職員への対応として、該当職員と所属長で面談を実施し、報告書の提出を求めるとともに、該当職員には産業医との面談を促した。

職員の放射線被ばく線量の管理については、放射線取扱部署への院内巡視時にガラスバッジの着用を確認したほか、破損した放射線防護用品の購入及び管理方法の周知、1ヶ月の被ばく線量が当院で定めた参考値を超える職員に対して、聞き取り調査及び被ばく防止の指導を行った。

また、改正電離放射線障害防止規則等に基づき、令和3年4月1日から施行・適用される眼の水晶体被ばく線量限度の引き下げ対策として、防護眼鏡や水晶体用線量計の着用及び購入を決定した。

今後も職場環境の状況把握に努め、労働者の健康障害の防止及び健康の保持増進等に関し、十分な審議、調査及び対策を行う。  
(漆畑利和)

パートナーシップ委員会

目的 患者と医療者間の信頼関係を樹立し、医療への患者参加をとおして、信頼される安全な医療を実現する。

委員長 漆畑利和

委員 井上暢子、縄田隆三、伊藤 弘、水上紘司、松本和恵、納本直重、森川結加

幹事 黒松夢乃

開催記録

回数	開催日	課題
第1回	令和2年5月28日	令和元年度の振り返り 令和2年度の活動予定
第2回	令和2年8月13日	患者さんと医療者のパートナーシップの内容の見直し 患者さんと医療者のパートナーシップに関する講演会の検討
第3回 (書面開催)	令和2年9月11日	患者さんと医療者のパートナーシップの院内周知
第4回	令和3年1月27日	患者さんと医療者のパートナーシップ及び各部署の取り組みの院外広報 令和3年度の委員会について

総括コメント

令和2年度は、年4回開催した。

委員会では、パートナーシップに関する文献を共有

し、「患者と医療者が対等の立場で協力して医療を進めること」というパートナーシップの考え方について理解を深め、下記の活動を行った。

- (1)前年度に引き続き、掲示物の内容を見直し、新たに「患者さんと医療者のパートナーシップ」を作成
- (2)院内にパートナーシップの浸透を図る活動として、パートナーシップの概念をまとめた文書を作成し、職員へ配布
- (3)新たな「患者さんと医療者のパートナーシップ」の掲示
- (4)新たな「患者さんと医療者のパートナーシップ」及びパートナーシップに関する取り組みをHPに掲載
- (5)専門家による講演会の検討 ※COVID-19の収束の見通しが立たず、次年度以降に見送り。

令和3年度は、パートナーシップの意義を職員へより一層浸透させるため、専門家による講演会の検討などを行っていく予定である。(漆畑利和)

#### 保険診療対策委員会

目的 保険診療の適正かつ円滑な運営を図ること。

委員長 山崎文郎

副委員長 佐野倫生、傳刀啓至

委員 山田 孝、小柳津竜樹、村田耕一郎、原 秀、青山治子、山本聖子、鈴木芳治、井出雅子、小林恵美子、新藤礼花

幹事 佐藤友香

#### 開催記録

- 第1回 令和2年4月20日(月)  
議題 1. 令和2年1月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について  
4. 再審査の決裁について
- 第2回 令和2年5月18日(月)  
議題 1. 令和2年2月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について
- 第3回 令和2年6月15日(月)  
議題 1. 令和2年3月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について  
4. 返戻状況について  
5. 年度別請求額と査定額について
- 第4回 令和2年7月20日(月)  
議題 1. 令和2年4月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について  
4. 返戻状況について

- 第5回 令和2年8月17日(月)  
議題 1. 令和2年5月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について  
4. 返戻状況について
- 第6回 令和2年9月23日(水)  
議題 1. 令和2年6月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について  
4. 返戻状況について
- 第7回 令和2年10月19日(月)  
議題 1. 令和2年7月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について  
4. 返戻状況について  
5. 先月の査定事項の確認について
- 第8回 令和2年11月16日(月)  
議題 1. 令和2年8月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について  
4. 返戻状況について
- 第9回 令和2年12月21日(月)  
議題 1. 令和2年9月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について  
4. 返戻状況について  
5. 処方箋料の査定について
- 第10回 令和3年1月18日(月)  
議題 1. 令和2年10月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について  
4. 返戻状況について
- 第11回 令和3年2月15日(月)  
議題 1. 令和2年11月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について  
4. 返戻状況について
- 第12回 令和3年3月15日(月)  
議題 1. 令和2年12月診療分査定状況について  
2. 再審査結果について  
3. 総合入院体制加算について  
4. 返戻状況について

#### 総括コメント

毎月1回保険請求に関する様々な問題を検討している。当委員会の活動の中で、査定対策が大きな割合を占めている。

積極的な再審査請求を行っている。再審査の結果を検討している。高額査定の復活もしばしばみられている。

査定に対して、論文等の裏付けを添付して、何度も再審査請求を行ったり、請求方法を変更したりといった丁寧な対応を今後も続けていく。再審査請求は査定を受けた後の事後処理となるので、査定そのものを減らす「査定減対策」が求められるのは当然であるが、適正かつ必要と思われる診療行為に対しては、ルールに従い、しっかりと請求していく方針である。病名もれ等の単純な誤りは当然減らしていきたいが、膨大な量のレセプトをもれなくチェックすることには多大な労力を要し、なかなかゼロにすることは難しい。各医師の協力が必要である。

総合入院体制加算の要件の一つである、資料を添付した診療情報提供 (I) の割合 (≧40%) を毎月モニターしている。さらに令和2年度から返戻減にも取り組んでおり、特に保険資格不備等の事務的な返戻の減少に注力し、一定の効果を上げることができた。

今後も適切で無駄のない保険診療を推進していきたい。

(山崎文郎)

## 電算委員会

目的 病院事業の電算化システムについて、検討、審議、決定する。

委員長 山田 孝

副委員長 濱村啓介、漆畑利和

委員 影山茂貴、江河勇樹、青山治子、吉井葉末、塚本剛生、池田直人、岩崎浩典、新村喜明、興津健吾、田中伸明、太田紘之、大塚 諭、岸端博生、入山雄一郎

幹事 池谷拓巳

### 開催記録

第1回 令和2年6月12日(金)

- 議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. ふじのくにねっと稼働状況について
  4. Sレポートについて
  5. ネットワークマイドキュメントの容量枯渇について

第2回 令和2年7月10日(金)

- 議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. ふじのくにねっと稼働状況について
  4. 電子カルテプログラム更新の日程について
  5. 電子カルテ更新について

第3回 令和2年9月18日(金)

- 議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. 電子カルテプログラム更新について
  4. ふじのくにねっと稼働状況について
  5. 法定停電について

第4回 令和2年10月9日(金)

- 議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. ふじのくにねっと利用状況について
  4. 電気設備点検時の電子カルテ対応マニュアルについて

第5回 令和2年11月13日(金)

- 議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. ふじのくにねっと利用状況について
  4. ナーシングアシスタントの電子カルテ操作権限について
  5. Shizubyo-free-WiFiについて
  6. 現行電子カルテシステムへのシステム変更依頼について

第6回 令和2年12月11日(金)

- 議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. ふじのくにねっと利用状況について
  4. 「国民の祝日」の変更について

第7回 令和3年1月15日(金)

- 議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. ふじのくにねっと利用状況について
  4. 現行電子カルテシステムのマスタ凍結について
  5. 院内メールアドレスの乗っ取りについて

第8回 令和3年2月12日(金)

- 議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. ふじのくにねっと利用状況について

第9回 令和3年3月12日(金)

- 議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. ふじのくにねっと利用状況について
  4. 次期システムの統計業務について
  5. オンライン資格確認について

### 総括コメント

「ふじのくにねっと」の利用がすすんでいる。病院とクリニックが半々くらい、開示請求は当院からと当院あてが半々くらいであり、クリニックと当院あての利用が予想を超えていた。画像データ共有が直ちにできることが、最大の利点となっている。

次期システムへの移行作業が開始されている。作業は膨大で、長時間が費やされている。電算委員会からも多数の協力を得ており、困難な作業に当たっていただいていることに感謝申し上げます。(山田 孝)

## 薬剤委員会

目的 当院で使用する医薬品の選定、管理および適正使用について審議する。

委員長 前田賢人

副委員長 山本紀夫

委員 濱村啓介、佐野武尚、橋本洋右、中村幸治、野中裕康、榎本康世、塚本剛生、望月英明、海野宏治、大倉瑞穂

オブザーバー 金森久美子、埜村登美子

幹事 伊藤 弘、小林広典、井口雄希

### 開催記録

開催日	臨時購入 (品目数)	正式採用 (品目数)	院外専用 (品目数)	中止 (品目数)	後発 切り替え
令和2年4月2日	1	6	0	4	0
令和2年6月4日	2	9	1	4	0
令和2年7月2日	2	1	1	7	5
令和2年8月6日	6	3	0	2	8
令和2年10月1日	3	2	1	0	2
令和2年11月5日	5	5	2	2	0
令和2年12月3日	2	6	3	0	2
令和3年2月4日	1	9	8	7	0
令和3年3月4日	4	5	11	2	0
本年度合計(昨年度)	26(39)	46(59)	27(26)	28(35)	17(15)

### 総括コメント

ジェネリックメーカーによる抗真菌経口剤への睡眠導入剤混入により健康被害が出て、大きな問題となった。当院では該当する抗真菌経口剤の採用はなかったが、当メーカーの採用薬が複数品目あったため、即座に全てを別の製品に切り替えた。ジェネリックに限らないが、回収や出荷調整などの供給に関する支障が当たり前に生じていて、採用時の選定に難しさを感じる。

今年度も使用実績が1年以上ない正式採用医薬品および院外処方専用医薬品の必要性について診療科長宛に調査を行い、これを基に品目の整理を実施した（正式採用から中止:12品目、正式採用から院外処方専用:11品目）。

(前田賢人)

## 薬剤業務検討委員会

目的 当院での薬剤関連業務のあり方や運用方法について審議する。

委員長 山本紀夫

副委員長 水野薫子

委員 佐野武尚、青山治子、榎本康世、傳刀啓至、園田幸弘、塚本剛生

幹事 高木聡子

## 開催記録

開催日時	議題等
令和2年6月11日(木)	・令和2年度診療報酬改訂(薬剤総合評価調整加算の変更) ・0402通知対応について
令和2年7月9日(木)	PBPMを利用した「薬剤師による退院時一包化修正プロトコル」について
令和2年9月10日(木)	PBPMを利用した「採用薬切り替えに伴うオーダー変更に関するプロトコル」について
令和2年11月12日(木)	・院外処方箋(FUJITSU)への臨床検査値記載について ・PBPMを利用した「薬剤師による日数修正プロトコル」について
令和3年1月14日(木)	・頻用薬品オーダー(FUJITSU)について ・定期処方日数の変更について(7日→14日)

### 総括コメント

今年度は主に、PBPM(Protocol Based Pharmacotherapy Management)を具体的に検討した。PBPMとは薬物治療管理のことであり、薬剤師に認められている現行の法の業務の中で、医師と合意したプロトコルに従って薬剤師が主体的に実施する業務を意味する。発案・検討時のベンダーがSBSであり、令和3年5月3日からFUJITSUシステムに変更しているため、具体的な手法について再検討を要するプロトコルもある。

また今年度後半は、FUJITSUシステムへの変更に伴う事案を検討した。来年度も引き続き、FUJITSUシステムへの変更に伴う各種運用の見直しを議題にあげ、各現場でスムーズな薬剤関連業務が行えるよう委員会を開催していきたい。(山本紀夫)

## 物品調達委員会

目的 病院が購入し使用する診療材料等の選定及び管理に関する事項を処理することを目的とする。

委員長 縄田隆三

副委員長 中井真尚、海野宏治

委員 大山巖雄、佐野倫生、井上 亮、山村加寿子、荒武百合子、後藤 彰、新藤礼花

オブザーバー 埜村登美子

幹事 井口雄希、出井慎也、君島鈴奈

### 開催記録

開催日	診療材料の採用及び中止	診療材料減耗損報告
令和2年6月11日(木)	8品目 採用	期間:令和2年4月1日～令和2年5月31日 件数22件 金額85,016円
令和2年10月22日(木)	4品目 採用	期間:令和2年6月1日～令和2年9月30日 件数50件 金額602,376円
令和2年1月14日(木)	5品目 採用	期間:令和2年10月1日～令和2年12月31日 件数46件 金額314,225円
令和3年3月18日(木)	5品目 採用	期間:令和3年1月1日～令和3年2月28日 件数37件 金額272,527円

## 総括コメント

本年度は委員会を4回開催し、各診療科および部門からの診療材料新規採用申請について審議を行った。採用に当たっては必要性および類似品の有無、使用頻度、購入単位等を参考にして採算性を検討した。大部分の採用物品はベンチマーク平均値を下回ることができたが、近年、新規採用物品については大幅な値引きは得られないことが多いため、採用後も地道に価格交渉を行っている。

減耗損についても昨年より減少しているが、引き続き注意喚起を続けていきたい。(縄田隆三)

## 臨床検査業務委員会

目的 臨床検査業務の効率化の向上及び検査技術科と他部門との相互連絡と、業務に係わる諸問題を審議し、円滑化を図る。

委員長 森木利昭

副委員長 富田浩一、桑山安代

委員 前田明則、杉山美帆(代理)、小泉さゆり、  
上野山良子、佐々木彩乃、海野宏治、桜田真唯  
オブザーバー 新村喜明、杉山弥生、堂本浩二、  
加茂川暢彦、渡部友芸

幹事 井出雅子

欠席者 脇 昌子、田中俊夫、佐藤景二

開催記録 令和2年6月29日(月)

1. 令和元年度検査技術科統計
2. 令和元年度外部精度管理調査結果報告
3. 令和元年度外注検査依頼状況
4. ISO15189認定取得報告、今後の予定
5. 各部署の業務状況報告
  - (1) 外来採血待ち時間分析 中央採血室
  - (2) 超音波検査の待ち時間分析 生理機能検査室
  - (3) COVID-19関連検査の状況 微生物検査室
  - (4) ALP・LDH測定法の変更 中央分析室

## 総括コメント

令和元年度検査総件数は、3,161,285件で前年度比2.7%減、診療報酬点数では出来高換算の実施料で118,236,157点、3.4%減となった。外来採血患者数は約2,300人減少、新型コロナウイルスの影響が大きかったと思われる。

外注検査の件数は、前年度比8.0%減、委託費で6.3%の増となり、その要因は保険点数、契約単価共に高い遺伝子関連検査の増加による。

外来採血待ち時間を減らす試みとして、2020年5月から繁忙時間帯に最大採血技師8名(採血台数プラス1名)を配置し、採血台の稼働率向上に努めている。

超音波検査の待ち時間は、午後の外来予約枠の増設、ハートセンターの診療時間に合わせた超音波検査予約の推進、2020年3月からは循環器科の装置を週4日借用し、検査効率を上げた結果、前年比で平均4分短縮した。今

後は、機器更新や次期システムでのオンライン入力への導入など、さらなる効率化を進め、検査時間の短縮につなげたい。

COVID-19関連検査は、3月より院内LAMP法の稼働により、迅速な検査が行われている。5月までの3ヶ月間の実績は449件であった。

ALP・LDH測定方法の変更は、関連学会等の案内に従い、2020年度末までに変更する計画で、検討を行っている。

ISO15189(臨床検査)認定を2019年9月に取得し、診療報酬の国際標準検査管理加算は2019年11月から算定している。第1回定期サーベイランスを2020年7月から9月の間に受審予定である。(森木利昭)

## 放射線業務委員会

目的 放射線診断科・放射線治療科・放射線技術科の運営に関する事項を審議する

委員長 前田賢人

副委員長 安部能崇、小泉健二

委員 山崎文郎、小柳津竜樹、田中俊夫、野口哲哉、  
村田耕一郎、三岡 博、原 秀、澤田智一、  
片桐幸大、佐藤景二、新井多佳子、増田秀道、  
堀 吉孝、鈴木忠裕、中川和巳

幹事 星野明宏

開催記録

第1回 令和2年4月16日(木)

- 1) 医療被ばくに係る説明文について
- 2) X線骨密度測定装置について
- 3) 1.5テスラMRI装置のバージョンアップについて

第2回 令和2年7月14日(火)

- 1) CT品質管理について
- 2) 1.5T MRI画像調整用ボランティア募集について
- 3) 1.5T MRIアプリケーションの説明会開催について
- 4) CT/MRI造影同意書の不備について
- 5) 読影依頼情報の不備について
- 6) MRI腹部ダイナミック時のO<sub>2</sub>吸入について
- 7) MRI腹部ダイナミック時のO<sub>2</sub>吸入および腹部MRI撮影時の鎮痙について
- 8) CTまたはMRI検査が同日に重複する撮影オーダーがある場合の対応について
- 9) ヨード系、ガドリニウム系造影剤副作用発現患者の注意喚起について
- 10) 看護師の造影MRI静脈注射業務の効率化について
- 11) CT胸部HR(高分解能)オーダーが安易に発行される問題について
- 12) PET検査や大血管CTと同一月にCT胸部HRを撮影した事例について
- 13) PETの糖尿病患者のシミュレーションについて

14) 遠隔読影会社の変更について

15) 骨密度測定装置更新の装置選定について

第3回 令和2年8月7～18日(回覧期間)

1) 放射線業務マニュアルの追加事項について

第4回 令和2年10月19日(月)

1) CT、MRIの予約待ち日数報告

2) 個人被ばく線量報告

3) 水晶体被曝線量改正の対応策報告

4) VINCENT講習会(研修医、専攻医対象)実施について

5) 新型コロナウイルス県補助金による感染病棟用ポータブル装置購入について

6) 骨密度装置の進捗状況および機種選定について

7) 救急外来における緊急性の無い検査について

8) 若年患者におけるCT検査について

9) ガラスバッジの種類変更について

第5回 令和3年3月12日(金)

1) CT検査、MRI検査の予約待ち日数についての報告

2) 個人被ばく線量の報告

3) 防護衣の定期チェックの結果報告

4) デンタル装置移設についての報告

5) SYNAPSE上でVINCENT作成3D画像の計測についての報告

6) 他院カテ動画の当院カテ動画サーバへの取込みについての報告

7) オープン検査患者の造影剤による続発症等への対応について

8) 個人被ばく線量報告書の扱いについて

9) 電子カルテ更新切り替え時の紙伝票運用対応について

10) 水晶体閾値の見直し報告とガラスバッジの装着徹底について

総括コメント

本年度は1.5TのMRI装置のバージョンアップが行われた。予想外のコロナ禍での作業となったが、大幅な検査待ちを生ずることもなく、その後の調整も滞りなく行われ、順調に稼働している。また、骨密度装置の更新に当たって、その機種選定を行った。本委員会では高額な医療機器の導入、およびその運用ルールの作成を担っており、今後も円滑な放射線業務遂行のために諸課題に取り組みたい。(前田賢人)

放射線安全管理委員会

目的 「放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」に基づき、リニアックを取り扱うことにより発生する放射線障害を防止し、公共の安全を確保する事を目的とする。

委員長 片桐幸大

副委員長 増田秀道

委員 塚本ひとみ、安部能崇、小柳津竜樹、村田耕三、小泉健二、澤井 龍、永野照雄

幹事 望月 緑

開催記録 なし

回覧による承認 令和3年2月8日

1. 放射線障害予防規定に基づく教育訓練の承認について業務従事者に対して行う教育訓練の日時、内容についての承認

教育訓練実施記録

日時 令和3年3月9日(火)、3月11日(木)、3月23日(火) 17:30から

会場 放射線治療室

出席者 業務従事者(片桐、望月み、星野、小野田、山口、寺田、近藤、広田、西田、渡部)

放射線取扱主任者(澤井、荻田、長田、望月よ)

内容 1. 放射線の人体に与える影響について 10分  
2. 放射線発生装置の安全取り扱いについて 10分

3. 放射線障害の防止に関する法令及び放射線障害予防規定について 10分

\*3月23日については追加で開催した。

総括コメント

今年度は特に委員会を開催する必要がなかったため、回覧による承認のみとなった。

来年度に向けての業務従事者の教育訓練も滞りなく開催し、事故なく安全に業務が行われるように努めたい。

安全管理に関して、引き続き、放射線治療品質委員会、PET診療安全管理委員会及び衛生委員会と連携しながら進めて行く。(片桐幸大)

患者給食委員会

目的 患者給食の基本事項を審議し、その向上を図る。

委員長 塚本ひとみ

副委員長 久保田美保子

委員 濱村啓介、杉山美帆、上野山良子、澤口展子、桜田真唯、鈴木愛実、浅倉 晶、加藤仁章、赤津航二郎

幹事 山内浩之

開催記録

令和2年6月11日(木)

1. 令和2年度 年間計画について

2. 献立メニューについて

3. 患者満足度調査の報告

4. その他

令和2年8月13日(木)

1. 献立メニューについて
2. 嗜好調査結果の報告
3. 栄養の日・栄養週間2020について
4. 嚥下食の見直しについて
5. 配膳・下膳時刻について
6. その他

令和2年10月15日(木)

1. 献立メニューについて
2. 嗜好調査結果の報告
3. 配膳時間調査について
4. 祝い膳の内容変更について
5. その他

令和2年12月10日(木)

1. 献立メニューについて
2. 配膳時間調査結果の報告
3. 嚥下スプーンについて
4. 給食における嗜好対応について
5. その他

令和3年2月18日(木)

1. 献立メニューについて
2. 嗜好調査結果の報告
3. 適切な食事形態の検討について
4. 経腸栄養剤に関するアンケート結果報告
5. 検査の箸とスプーンについて

#### 総括コメント

今年度はコロナ禍の影響もあり急遽嗜好調査実施時期を延期するなどの対応を強いられたが、例年通り3回の嗜好調査を実施し患者給食の現状評価および改善点の検討を行った。嗜好調査のほか、患者さんの給食喫食時間の実情把握のため配膳時間の実態調査と現状分析も実施した。調査の結果各病棟への配膳車到着は概ね定刻通りであったが、病棟によっては他業務との兼ね合いですぐには患者さんへの給食配膳を開始できない実状があり人員配置や業務整理等の改善が必要と考えられた。前述のコロナ禍における感染対策に配慮した食事対応に始まり、今年度は摂食・嚥下障害を有する患者への食事対応や食物アレルギーへの対応など給食の安全性確保とその向上にむけた検討を重点的に実施した。嗜好調査結果も踏まえた上で、美味しく質の高い給食を365日事故無く患者さんに提供することができるよう、引き続き給食の改善やスタッフ教育に努めていく必要があると考えられる。(塚本ひとみ)

#### 救急業務委員会

目的 救急業務の円滑な運営を図るため救急診療に関する事項について審議する。

委員長 山田 孝

副委員長 渡邊 出、前田賢人

委員 小柳津竜樹、綾部裕子、野口哲哉、佐野武尚、原 秀、竹内亮輔、酒井秀政、黒須健太、池谷綾子、太田明子、岡野洋子、藤井真一、岩崎浩典、新村喜明、内藤豊貴、足立敬幸、池谷拓巳、小林恵美子、池ヶ谷幸恵

幹事 梅田智之

#### 開催記録

令和2年4月22日(水)

CPAOAの検証について(2月、3月)

不応需症例について

医療機関別搬送人員と傷病程度別応需率について

救急外来診療業務マニュアル改正について(審議事項)

静岡地域メディカルコントロール協議会の報告

院内医師に配られた「救急外来における発熱者、新型コロナウイルス感染症対応について」について報告

令和2年5月29日(金)

CPAOAの検証について(3月、4月)

不応需症例について

医療機関別搬送人員と傷病程度別応需率について

改正した救急外来診療業務マニュアルの使用開始について

令和2年6月24日(水)

CPAOAの検証について(4月、5月)

不応需症例について

医療機関別搬送人員と傷病程度別応需率について

救急患者数、救急搬送等の統計にて現状報告

令和2年7月22日(水)

CPAOAの検証について(5月、6月)

不応需症例について

医療機関別搬送人員数と疾病程度別応需率について

令和2年8月26日(水)

CPAOAの検証について(6月、7月)

不応需症例について

医療機関別搬送人員数と疾病程度別応需率について

令和2年9月23日(水)

CPAOAの検証について(7月、8月)

不応需症例について

医療機関別搬送人員数と疾病程度別応需率について

救急外来問診票の改変について説明

皮膚科医師の減少に伴い、皮膚科救急対応の変更について

救急外来での患者受入れ状況について

令和2年10月28日(水)

CPAOAの検証について(8月、9月)

不応需症例について

医療機関別搬送人員数と疾病程度別応需率について

JTASコンテンツ利用について

救急当直室の変更について報告

令和2年11月25日(水)

CPAOAの検証について(9月、10月)

不応需症例について

医療機関別搬送人員数と疾病程度別応需率について  
救急外来の院内ネットワーク無線接続環境の改善について

コロナ患者受入れ時の、防護服着用等の対応方法について  
医師への周知方法について検討

令和2年12月23日(水)

CPAOAの検証について(10月、11月)

不応需症例について

医療機関別搬送人員数と疾病程度別応需率について

令和3年1月27日(水)

CPAOAの検証について(11月、12月)

不応需症例について

医療機関別搬送人員数と疾病程度別応需率について

令和3年2月25日(木)

CPAOAの検証について(12月、1月)

不応需症例について

医療機関別搬送人員数と疾病程度別応需率について  
5月からの院内情報システム入替え後の救急外来運用について

令和3年3月24日(水)

CPAOAの検証について(1月、2月)

医療機関別搬送人員数と疾病程度別応需率について

総括コメント

救急業務もコロナ禍の影響を直接受けた診療科の一つである。

患者さんの情報が少ない状態のまま接することが多く、最前線での感染リスク管理に注意を払う必要がある。幸い、これまでのところ救急外来を介する感染やクラスター発生は起きておらず、感染防御が効果を示している。

一方でコロナ対策として一般病床を縮減しコロナ病床を確保したことで、入院ベッドが不足となった。そして日によっては救急受け入れに支障をきたす結果となった。すぐに実行可能な根本的解決策が無く、しばらくは苦しい対応が続くものと予想される。知恵と工夫が試される時でもある。(山田 孝)

手術業務委員会

目的 手術室の円滑な運営をはかり、関係各診療科間の調整を行う。

委員長 山崎文郎

副委員長 玉里順子

委員 深澤誠司、松本芳博、前田賢人、水野薫子、池上 聡、井上 亮、村田耕一郎、大山巖雄、

野口哲哉、土屋恭子、澤田智一、金 大志、青山治子、吉井葉末、藤森貴大、堀 吉孝、佐野史江、大隅 進

幹事 荒武百合子、伊藤志保、出井慎也

開催記録

・令和2年4月8日(水)

(1) 手術室コロナ対策について

・令和2年4月22日(水)

(1) 手術室コロナ対策について

・令和2年5月20日(水)

(1) 医療機器の共有について

(2) 手術室器械・診療材料の収納について

(3) 準夜勤務中止後の手術室状況について

(4) その他

・令和2年6月17日(水)

(1) 手術枠の空きの活用について

(2) ICU当直、麻酔科当直について

(3) 5 roomの水漏れの現状について

(4) 看護師人員不足について

(5) 感染対策シールドマスク着用について

(6) 減耗損報告

(7) その他

・令和2年7月15日(水)

(1) 減耗損報告

(2) その他

・令和2年8月19日(水)

(1) OPサブシステム手術入力について

(2) 24時間防犯カメラ設置について

(3) 8月からの麻酔科の体制

(4) 血管撮影室1室工事について

(5) 8月既卒入職者について

(6) 減耗損報告

・令和2年9月16日(水)

(1) 手術件数の現状、手術部屋の活用について(麻酔科より)

(2) 減耗損報告

(3) 標本提出について

(4) その他

・令和2年10月21日(水)

(1) 医療機器購入に関わるお願いと提案

(2) 緊急カイザー部屋について

(3) その他

・令和2年11月18日(水)

(1) 減耗損報告

(2) 11月からの準夜勤務開始について

(3) 来年度購入予定の医療機器について

(4) 新電子カルテシステムでの手術申し込みの説明

(5) 6 roomシーリング撤去について

- (6) トランスミューパー故障時の今後の対応について
- ・令和2年12月16日(水)
  - (1) 減耗損報告
  - (2) 令和2年度上半期オペラマスター報告
  - (3) その他
- ・令和3年1月20日(水)
  - (1) 減耗損報告
  - (2) 来年度購入予定の医療機器について
  - (3) その他
- ・令和3年2月17日(水)
  - (1) 減耗損報告
  - (2) 来年度購入予定の医療機器について
  - (3) 令和3年2月12日の手術室水漏れについて(報告)
  - (4) その他
- ・令和3年3月17日(水)
  - (1) 減耗損報告
  - (2) 手術申し込みについて(麻酔科)
  - (3) 電子カルテ更新に伴う手術申し込みについて
  - (4) その他

#### 総括コメント

例年通り手術室の運営に関して、手術業務委員会で様々な討議がなされた。

令和2年度はCOVID-19パンデミックに大きく影響された年であった。オペラマスターでの分析では5月、6月の手術数の大幅な減少が見られた。11月にはようやく前年並みに復帰したが、令和3年に入り再び手術数の減少が見られている。病院の入院収益のおよそ1/3をしめる手術の減少は、病院経営に対しても大きな影響をもたらしている。

病院を取り巻く環境は厳しいものがあるが、以前から指摘されていた手術室の不足に対して、現在の手術室のフロアになんとかもう1室手術室を増設する方向で、プロジェクトチームを立ち上げて検討を始めた。令和3年度には設計まで到達する予定で活動を開始した。部屋が増えて手術数増が可能となった場合、看護師の人員確保が必須である。看護部の協力もあり、令和3年度には手術室看護師の増員がなされるが、令和2年度もあわせ新人が多くなったため、新人研修に対して人的にも時間的にも負担増となっている。今しばらく関連各部署の協力をお願いしたい。(山崎文郎)

#### 外来業務委員会

目的 外来業務に関する諸問題について関連各部門が連携し円滑な運営を図る。

委員長 脇 昌子

副委員長 井上暢子、傳刀啓至

委員 縄田隆三、藤井雅人、川人充知、小林恵美子、鈴木公子、山本聖子、畠沢喜代子、塚本剛生、

中沢 稔、後藤善人、高村比呂華、長谷川智、入山雄一郎、永野照雄、池ヶ谷幸恵、佐藤友香  
幹事 大倉瑞穂

#### 開催記録

令和2年4月15日(水)

1. 新型コロナウイルス感染対策の外来問診票について
2. 新型コロナウイルス感染予防のための電話再診について
3. 神経内科外来の診療について

令和2年6月8日(月)

1. 精神科外来の診療について
2. 神経内科外来の診療について
3. 新型コロナウイルス感染予防のための電話再診について

令和2年8月28日(金)

1. 初期研修医の初診外来研修について
2. 電子雑誌読み放題サービスについて
3. 電話医療通訳サービスの利用開始について

令和2年11月25日(水)

1. 口腔外科外来のコロナ問診票の設置場所について
2. 外来の各診察室の手指消毒液設置について
3. 次期総合医療情報システム更新に伴う外来診療予約の取得について

#### 総括コメント

診療・事務各部門から構成される委員により、外来診療に関する多彩で広範な問題に対応し、各種の業務の円滑な運営のために部門間および他の委員会との協議や調整をおこなった。

今年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に明け暮れたが、当委員会も、安全な外来診療を続けるための対策や新たに導入された電話再診を円滑に行うよう、調整を図った。また外来受診者減少のため、これまでずっと懸案事項であった外来待ち時間対策も、今年度は一旦保留となり、予定されていた採血室レイアウト変更採血台増設などは、延期された。今年度から必修となった初期研修医の外来研修は、内科系各科指導医とともに紹介状を持たない初診者の診療を目指していたが、このような受診者が減少したため診療各科での研修も組み込まれた。

次年度早々に次期総合医療情報システム変更が予定されたため、今年度後半から対応準備を始めた。

(脇 昌子)

#### 病棟業務委員会

目的 病棟全体の円滑な運営に努めるとともに、病棟間の調整について看護業務と連携をとり審議する。

委員長 前田明則

副委員長 水野薫子、小林恵美子  
委員 前田賢人、小柳津竜樹、藤井雅人、青山治子、  
山村加寿子、高木聡子、風間文美代、傳刀啓至、  
永野照雄

幹事 池ヶ谷幸恵、大井手るな

開催記録

第1回 令和2年6月12日(金)

議題 GHCUの再開について

第2回 令和3年2月17日(水)

議題 1. GHCUの一部開床について  
2. 西8病棟について

総括コメント

今年度はCOVID-19感染に全世界もそして病院も大きく影響された1年であったが、当委員会の業務もCOVID-19対応に関するものがほとんどであった。

COVID-19患者は、年度当初は東12階病棟、重症については東8階GHCUで対応していたが、その後はすべて東8階で対応することとした。COVID-19病棟に十分な看護師を配置するために西8階病棟を閉鎖した。緊急事態宣言の発令などに応じて患者数が変動するため、COVID-19患者以外の東8階一般床、GHCUについては、閉鎖、開鎖を繰り返しながら臨機応変に対応した。

上記の対応に伴いCOVID-19対応以外の病床数が大幅に減少したため、ベッドコントロールは困難を極めた。来年度からはベッドコントローラーを増員する予定であり、関係部署間の連絡をさらに密に取りながら、今後も病棟業務が円滑に進行するよう図っていきたい。

(前田明則)

#### 医療廃棄物委員会

目的 当院で排出される医療廃棄物について、「医療廃棄物処理マニュアル」及び関係法令等に基づく安全で衛生的な処理を確保することを目的とする。

委員長 深澤誠司

副委員長 中川和巳

委員 岩井一也、玉里順子、大石千晴、青木 望、  
三浦 篤、望月裕一、伊藤栄和

オブザーバー 田中良枝、永野照雄、馬場英明

幹事 加地 栞

開催記録

令和2年8月12日(水)

- (1) 令和元年度の産業廃棄物処理実績の報告
- (2) 令和2年度の産業廃棄物処理実績の中間報告(4～6月分)
- (3) 令和2年度 医療廃棄物委員会の年間活動計画について
- (4) 院内廃棄物マニュアル第1案の配付と今後の

予定について

(5) 感染性廃棄物(固形物)の廃棄容器の配付状況について

令和2年10月7日(水)

- (1) 令和2年度の産業廃棄物処理実績の中間報告(4～9月分)
- (2) 院内医療廃棄物処理マニュアルの変更と内容の決定について
- (3) 資源ごみの運用について

総括コメント

昨年、目標としたごみの分別に関しては廃プラスチックと感染廃棄物の分別を開始した。COVID-19にて感染廃棄物が増加しているが、幾分かは減少効果があったと考えている。また、懸念であった廃棄物マニュアルも完成させることが出来た。

次年度は資源ごみの回収を積極的に行う、ペットボトルを可燃ごみではなく分別し回収を行う等を試みたいと考えている。  
(深澤誠司)

#### 医療ガス安全管理委員会

目的 病院で使用する医療ガス及びその設備の保安管理を図り、患者の安全を確保する。

委員長 深澤誠司

副委員長 中川和巳

委員 岩井一也、玉里順子、吉井葉末、恒川典子、  
大隅 進、望月裕一、三浦 篤

幹事 馬場英明

開催記録

令和3年3月10日(水)

- (1) 令和元年度 医療ガス設備保守点検業務について(報告)
- (2) 医療ガス設備における新型コロナウイルス対策について

総括コメント

保守点検に関しては、年4回の定期保守点検で特に指摘事項なしでした。

本年はCOVID-19の感染防止目的に集団研修等を控えたため、4月の新人研修での医療ガス安全管理講習はありませんでした。次年度以降新人研修が再開された折には本講習も再開を検討。  
(深澤誠司)

#### 輸血療法委員会

目的 安全でかつ適正な輸血療法の推進

委員長 前田明則

副委員長 桑山安代

委員 山崎文郎、米沢 圭、市川昭美、進藤 仁、  
櫻井貴斗、桜田真唯

幹事 新村喜明

## 開催記録

令和2年5月21日（木）

1. 令和2年2月～3月の輸血用血液製剤使用状況について
2. 令和元年度の輸血用血液製剤使用状況について
3. 輸血後感染症検査の実施率について
4. 輸血後感染症検査の実施率向上のための通知文配布について
5. 日本赤十字社における新型コロナウイルスの安全対策について

令和2年7月16日（木）

1. 令和2年4月～5月の輸血用血液製剤使用状況について
2. 輸血後感染症検査の実施率について
3. 「輸血療法の実施に関する指針」の一部改正について
4. 輸血用血液製剤に対するHEVの個別NAT検査導入について
5. 輸血インシデントについて

令和2年9月17日（木）

1. 令和2年6月～7月の輸血用血液製剤使用状況について
2. 輸血後感染症検査の実施率について
3. 次期医療情報システム更新について

令和2年11月19日（木）

1. 令和2年8月～9月の輸血用血液製剤使用状況について
2. 輸血後感染症検査の実施率について
3. 次期医療情報システム更新に伴う輸血前後の感染症検査の在り方について

令和3年1月21日（木）

1. 令和2年10月～11月の輸血用血液製剤使用状況について
2. 輸血後感染症検査の対応について
3. 次期医療情報システム（輸血オーダ関連）について

令和3年3月18日（木）

1. 輸血療法委員会運用マニュアルの改定について
2. 現システム停止から新システム稼働までの対応について
3. 新システム稼働後の運用について
4. 輸血による細菌感染について（血小板製剤輸血時の注意点）
5. 日本赤十字社におけるTRALIとTACOの評価基準変更について

## 総括コメント

「輸血療法の実施に関する指針」が一部改正され、日本輸血・細胞治療学会からも輸血後感染症検査の在り方

について考え方が示された。これまでは輸血患者全例に輸血後感染症検査を実施し、実施率の向上に務めてきたが、令和3年に更新する新病院システムの稼働に併せて必要患者に限定して実施するように見直した。今後も適正な輸血療法を推進するために改善を検討していく。

（前田明則）

## 診療録委員会

目的 院内の診療記録・医学資料の保存、廃棄について検討し、よりよい診療録の管理を目指す。更に診療録の記載内容について検討し、診療録の質の向上を目的とする。

委員長 山田 孝

副委員長 傳刀啓至

委員 村田耕一郎、五十嵐健康、橋本洋右、青山治子、吉井葉末、篠原宏幸、浅井珠江、望月 緑、森川結加

幹事 大塚 諭

## 開催記録

令和2年4月15日（水）

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. 診療記録取扱規約の一部変更について
4. 新規・修正文書承認について
5. その他

令和2年6月17日（水）

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. カルテ監査について
4. 新規・修正文書承認について
5. その他（スキャン文書について）

令和2年8月19日（水）

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. カルテ監査結果について
4. 新規・修正文書承認について
5. その他

令和2年10月21日（水）

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. 電子カルテ更新に係るWG決定事項について
4. 修正文書承認について
5. その他

令和2年11月18日（水）

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. 電子カルテ更新に係る報告事項について
4. 新規・修正文書承認について

5. その他

令和2年12月16日(水)

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. 電子カルテ更新に係る検討事項について
4. 新規・修正文書承認について
5. その他

令和3年1月20日(水)

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. 電子カルテ更新に係る検討事項について
4. 修正文書承認について
5. その他

令和3年2月17日(水)

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. 電子カルテ更新に係る検討事項について
4. 診療諸記録の保管替えについて(報告)
5. 新規文書承認について
6. その他(代行入力未確認件数及び退院サマリ承認待ち件数について)

令和3年3月17日(水)

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. その他

総括コメント

通常の新規文書や修正文書の検討と承認業務のほかに、電子カルテ更新に伴う検討や作業が多く行われた。以前から進めていたペーパーレス化を電子カルテ更新に合わせ大きく進める狙いがあり、診察現場で生じるエコー画像などこれまでスキャナー取り込みが困難であった情報も直接電子カルテシステムに取り込む予定としている。次期システムでは文書検索がやりやすくなるなど利便性が向上することになっており、これまで以上に多様な文書が利用されることで、業務の質的向上が図られることを期待している。(山田 孝)

褥瘡対策委員会

目的 褥瘡対策について、病院として総合的な対策を検討する。

委員長 間嶋佑太

副委員長 澤口展子

委員 金 大志、力丸 翼、杉村友紀、栗山幸子、森木 睦、市川千洋、花村多美子、朝比奈ひろみ、海老名哲生、鈴木菜々、渡邊 悠、増田晋哉、杉山和寛、佐藤七恵

幹事 桜田真唯

開催記録

令和2年4月23日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率

令和2年5月28日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 褥瘡対策マニュアルの改訂(案)について
- 5 停電に伴うエアマットの電源について
- 6 研修会の開催について

令和2年6月25日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 スキンテアの周知について

令和2年7月30日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 褥瘡対策講習会の日程、内容について

令和2年8月27日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率

令和2年9月24日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 褥瘡対策講習会の当日役割分担、アンケート内容について

令和2年10月22日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率

令和2年11月26日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 褥瘡対策講習会のアンケート結果について

令和2年12月24日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率

令和3年1月28日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告

### 3 新規発生率

令和3年2月25日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 次期委員長の指名
- 5 マニュアル改訂について
- 6 電子カルテ移行について

令和3年3月25日(木)

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率

#### 総括コメント

前年度に引き続き、WOCナース、管理栄養士、理学療法士、薬剤師がそれぞれのデータを事前に収集してカンファレンスを行い、効率的かつ効果的な回診ができています。

褥瘡発生子防のため、定期的に院内勉強会を行い、啓蒙活動にも力を入れている。

日本褥瘡学会より2020年度にDESIGN-Rが改定され、褥瘡の評価もより細くなった。全国的に一層褥瘡対策が必要な時世になっているのだと感じる。今後も活発な委員会活動を行っていく。(森木 陸)

#### 病院機能評価委員会

目的 病院機能評価を通じて各業務の基準や手順を確認し、病院としてのクオリティを高めるとともに、その実現のため病院に対して提言することを目的とする。

委員長 水野薫子

副委員長 中井真尚

委員 藤井雅人、澤田智一、塚本ひとみ、青山治子、市川昭美、田中良枝、山本紀夫、佐藤景二、篠原宏幸、太田紘之、寺田知世、海野宏治、梅田智之、大塚 諭

幹事 長谷川智、櫻井洸介

#### 開催記録

令和2年6月19日(金)

1. 平成30年度の病院機能評価の指摘事項について
2. 病院機能評価「期中の確認」について
3. 令和2年度のスケジュールについて

令和2年10月14日(水)

1. 病院機能評価「期中の確認」提出内容の決定

#### 総括コメント

令和2年度は病院機能評価認定更新までの中間審査に当たる「期中の確認」の年に当たることから、各評価事項の取組状況の確認を行った。

前回更新時(平成30年度)に指摘事項のあった項目

(B評価5項目、A評価11項目)についての活動進捗状況、及びS評価であった2項目についてのさらなる取組状況について報告した。

令和3年度は、2年後の病院機能評価更新を見据え、課題となっている事項を中心とした改善に引き続き取り組み、より高い医療の質を維持していきたい。

(水野薫子)

#### がん診療委員会

目的 病院のがん診療にかかる方針、運用等について、検討、審議する。

委員長 前田明則

副委員長 前田賢人

委員 山田 孝、大山巖雄、小柳津竜樹、岩井一也、片桐幸大、井上暢子、前田弘子、鍋田 泉、坂上朋子、原木久美、増田友美、永倉エリ子、望月英明、堂本浩二、海野千晶、森川結加、

幹事 高橋美乃莉

#### 開催記録

第1回がん診療委員会全体会議

令和2年9月7日(月)

- 1 令和2年度のがん診療委員会体制について
- 2 各部会年度報告
  - ①がん登録部会
  - ②化学療法部会
  - ③緩和医療部会
  - ④広報学術部会
  - ⑤就労支援部会
  - ⑥医科歯科連携部会
  - ⑦がん教育部会

3 がん診療連携拠点病院指定更新に係る現況報告のための集計依頼

#### 総括コメント

静岡市としてのさらなるがん対策の充実に向け、昨年度初めに静岡市がん対策推進条例が施行された。市立病院であり、がん診療連携拠点病院でもある当院に求められる役割はさらに大きくなっている。

今年度も、がん登録部会、化学療法部会、広報学術部会、緩和医療部会、医科歯科連携部会、相談・就労支援部会、支持療法部会、がん教育部会の8部会において、それぞれの活動を行った。

今年度はCOVID-19の影響を大きく受けた年であった。

がん教育に関しては幸いあまり大きな影響は受けず、今年度も中学生を対象とした「がん教育」の授業を8中学校において計12回行った。

しかし院内に人を集めて行う活動は自粛せざるを得ず、定期的に行っていたがん患者サロンや病診がんカンファレンスなどは中止を余儀なくされた。感染の状況を

見極めながら再開していく予定である。

COVID-19の流行のために、がんの診断、治療が遅れることは決してあってはならず、これからも心のこもった質の高いがん医療を提供していくとともに、受診前の市民の健康維持にも貢献していきたい。（前田明則）

### クリニカルパス委員会

目的 医療の標準化を目指し、質の高い医療の提供と、効率的かつ、患者に分かりやすい医療を目指すためのシステム構築と管理を目的とする。

委員長 山田 孝

副委員長 佐野倫生

委員 小柳津竜樹、米澤真澄、中井真尚、上田 翔、井上暢子、前田弘子、河合王明、山本聖子、小林恵美子、池ヶ谷幸恵、傳刀啓至、佐藤友香、大塚 諭

幹事 森川結加

#### 開催記録

令和2年4月14日（火）

1. 新規パス検討
2. パスの稼働報告

令和2年5月12日（火）

1. パスの稼働報告
2. その他

令和2年6月9日（火）

1. パスの稼働報告
2. 機能評価係数Ⅱ 効率性係数について
3. その他

令和2年7月14日（火）

1. 新規パス検討
2. パスの稼働報告
3. 病院機能評価について
4. その他

令和2年8月11日（火）

1. 新規パス検討
2. パスの稼働報告
3. その他

令和2年9月8日（火）

1. パスの稼働報告
2. その他

令和2年10月23日（金）

1. 次期システム更新に向けて
2. パス分析
3. パスの稼働報告

令和2年11月10日（火）

1. パスの稼働報告
2. パス分析
3. その他

令和2年12月8日（火）

1. パスの稼働報告
2. パス分析
3. その他

令和3年1月12日（火）

1. 新規パスの検討
2. パスの日数変更
3. パスの稼働報告
4. その他

令和3年2月9日（火）

1. 新規パスの検討
2. パスの日数変更
3. パスの稼働報告
4. パス分析
5. システム更新に伴うパスデータ移行作業について
6. その他

令和3年3月9日（火）

1. パスの稼働報告
2. パスシステムの権限について
3. その他

#### 総括コメント

院内パスの治療率は20%台と低く、この向上が眼前の目標となっている。主な活動としては年間を通じて、新規パスの承認、既存パスのDPCから見た変更・修正を行っている。また公開されているパスと当院の比較を行い、未開拓のパスがどのあたりに存在するかを探索している。

令和3年度に医療情報システムの更新が計画され、クリニカルパスにも大きな影響が及ぶことが予想されている。これまでよりも、作成しやすく、統計がとりやすくなることが期待されている。新しいものに慣れるのには時間がかかるかもしれないが、当院のクリニカルパス発展が加速することが望まれており、次年度ではこの期待に応えるべく、努力を継続する所存です。（山田 孝）

### DPC委員会

目的 標準的な診断及び治療方法について院内で周知を徹底し、適切なコーディング（適切な診断を含めた診断群分類の決定をいう。）を行う体制を確保する。また、診断群分類の適切なコーディングに関する勉強会を主な目的として、DPCコーディング検討会を開催する。

委員長 山田 孝

副委員長 小林恵美子

委員 村田耕一郎、齊藤輝乃、古谷恵理（2021.1より高木聡子へ変更）、後藤善人、井出雅子、傳刀啓至、佐藤友香

幹事 中山綾野、新藤礼花

## 開催記録

- 第1回 令和2年4月23日(木)  
議題 1. コーディング検証(整形外科:誤嚥性肺炎・大腿骨転子部骨折)  
2. DPC統計  
3. 外部環境分析について
- 第2回 令和2年5月28日(木)  
議題 1. コーディング検証(循環器内科:非代謝性肝硬変)  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合、診断群分類別1日単価比較について
- 第3回 令和2年6月25日(木)  
議題 1. コーディング検証(内分泌・代謝内科:洞不全症候群)  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 機能評価係数IIについて
- 第4回 令和2年7月30日(木)  
議題 1. コーディング検証(消化器内科:塞栓性脳梗塞・急性期)  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 複雑性係数に係る紹介元医療機関について
- 第5回 令和2年8月27日(木)  
議題 1. コーディング検証(循環器内科:うっ血性心不全)  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 地域連携分析について
- 第6回 令和2年9月24日(木)  
議題 1. コーディング検証(脳神経外科:脳梗塞)  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 定義副傷病について  
5. 病院情報公表について
- 第7回 令和2年10月22日(木)  
議題 1. コーディング検証(腎臓内科:急性腎盂腎炎)  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 基礎係数について
- 第8回 令和2年11月26日(木)  
議題 1. コーディング検証(消化器内科:転移性脳腫瘍)  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 救急医療入院スコア可視化について

- 第9回 令和2年12月24日(木)  
議題 1. コーディング検証(呼吸器内科:気管支拡張症)  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 救急医療入院スコア可視化について  
5. 機能評価係数Iについて
- 第10回 令和3年1月28日(木)  
議題 1. コーディング検証(消化器内科:直腸癌)  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 救急医療入院スコア可視化について  
5. 入院期間II超率について
- 第11回 令和3年2月25日(木)  
議題 1. コーディング検証(内分泌・代謝内科:2型糖尿病性ケトアシドーシス)  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 救急医療入院スコア可視化について  
5. ベンチマーク分析について
- 第12回 令和3年3月25日(木)  
議題 1. コーディング検証(内分泌・代謝内科:2型糖尿病性腎症第3期)  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 救急医療入院スコア可視化について  
5. 令和3年度機能評価係数について

## 総括コメント

コーディング検証では、具体例を1例採り上げ、その診療科の医師にも参加してもらい、DPCから見た症例検討を行っている。病名自体の適切さと副傷病名の重要性を具体的に理解してもらえる機会となっている。新規に行ったこととしては、DPCの内容の分析ソフトを用いて、新たな切り口で検討を加えた。救急での分析では意識レベルの適切な記入が重要であることが判明した。今後もこのような客観的な分析・評価を進めていきたい。  
(山田 孝)

## 放射線治療品質委員会

目的 放射線治療全体の観点から、専門的知識をもとに品質管理を行うとともに、放射線治療の安全性の向上を図る事を目的とする。

委員長 片桐幸大

副委員長 増田秀道

委員 星野明宏、米沢 圭、望月 緑、乙丸 亨、  
新井多佳子、渡部美尚子

幹事 海野宏治

開催記録

令和2年5月14日(木)

1. 前回のインシデント報告に関する対策及び取り決めの確認
2. 臨床案件(インシデント報告)
3. 放射線治療装置のエラー、故障の報告
4. 装置の品質管理状況等について
5. その他…日本放射線腫瘍学会認定施設の更新について  
放射線治療システム保守費用の見直しについて

令和2年10月13日(火)

1. 前回のインシデント報告に関する対策及び取り決めの確認
2. 臨床案件(インシデント報告)
3. 放射線治療装置のエラー、故障の報告
4. 装置の品質管理状況等について
5. その他…日本放射線腫瘍学会認定施設の更新について  
治療用の線量計の校正について

令和3年2月22日(月)

1. 前回のインシデント報告に関する対策及び取り決めの確認
2. 臨床案件(インシデント報告)
3. 放射線治療装置のエラー、故障の報告
4. 装置の品質管理状況等について
5. その他…日本放射線腫瘍学会認定施設の更新について  
放射線治療患者の毎日診察の件

総括コメント

今年度はコロナ感染の影響もあり、年4回の開催予定が3回になってしまった。しかしながら、日本放射線腫瘍学会認定施設の更新、放射線治療用線量計の校正等無事行えているため、問題なく運用できている。装置の品質管理についても点検結果は概ね良好であり、安定している。放射線治療装置も導入してから5年経過するため、不具合も出てくるが、安全、安心な医療を提供できるように務めたい。(片桐幸大)

クオリティーマネージメント委員会

目的 院内のクオリティ向上活動について取組を発表する場を設置するため。

委員長 山田 孝

副委員長 小柳津竜樹、中井真尚

委員 前田明則、深澤誠司、前田賢人、森木利昭、松本芳博、岩井一也、濱村啓介、村田耕一郎、野口哲哉、米澤真澄、井上暢子、鍋田 泉、青木 望、篠原宏幸、堀 吉孝、風間文美代、

大隅 進、太田紘之、芝田由香、三浦慎也、梅田智之

幹事 中山綾野

開催記録

令和2年11月16日(月)

議題 令和2年度クオリティーマネージメント報告会の開催について

令和2年度クオリティーマネージメント報告会 ポスター掲示開催日

第1クール：令和3年2月5日(金)～令和3年2月19日(金)

第2クール：令和3年2月19日(金)～令和3年3月8日(月)

第3クール：令和3年3月8日(月)～令和3年3月22日(月)

令和2年度クオリティーマネージメント報告会 ポスター掲示演題名・所属部署・参加者名

【第1クール】

	演題名	所属部署	氏名
1	抗HIV薬の在庫適正化をめざす取り組み	薬剤科	矢野 佳孝
2	Trichophyton benhamiaeによる体部白癬	皮膚科	鈴木 陽子 間嶋 佑太 栗山 幸子
3	いわゆる「トリクロ鎮静」のかつてと今	小児科	酒井 秀政
4	放射線防護衣(プロテクター)の管理	放射線技術科	望月 緑
5	成人市中肺炎経年データ 6年の経過	呼吸器内科	山田 孝
6	画像診断レポート 見落とし防止の取り組み	医療安全管理室 医事経営室	山崎 文郎 中山 綾野
7	肺癌術後再発に対する免疫チェックポイント阻害薬使用経験	呼吸器外科	土屋 恭子

【第2クール】

	演題名	所属部署	氏名
8	当院における褥瘡予防のための白色ワセリンを使用したスキンケアの取り組み	看護部	海老名哲生
9	当院におけるオープンステントグラフト(J GraftFrozenix)の使用実績	心臓血管外科	野村 亮太
10	令和2年度臨床試験管理センターの実績	臨床試験管理センター	北島真利子
11	当科におけるロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の治療成績	泌尿器科	藤川 祥平 松田 歩 八木橋祐亮 野口 哲哉
12	コロナ禍におけるせん妄の推移	精神科	小島千加子
13	コロナ禍の診療材料確保	施設課	出井 慎也
14	CE業務の変遷	臨床工学科	大隅 進

【第3クール】

	演題名	所属部署	氏名
15	リハビリテーションの実績とあらたな取組み	リハビリテーション技術科	篠原 宏幸
16	頭部外傷治療に際してのケイセントラの使用経験	脳神経外科	米澤 慎悟
17	安全な給食配膳を考える	栄養管理科	太田 紘之
18	受け入れ不可となった採血検体の数と要因分析	検査技術科	風間文美代

19	シミュレーションラボ室の利用実績について	シミュレーションラボ室	佐藤 隆敏
20	単径ヘルニア手術へのあくなき挑戦	外科・消化器外科	小林 敏樹
21	高齢糖尿病患者の血糖コントロール目標達成度の変化	内分泌・代謝内科	清水 洋佑
22	心臓カテーテル検査時の至適ヘパリン投与量	循環器内科	村田耕一郎

#### 総括コメント

新型コロナウイルス感染への対応で多くの時間が割かれる中、本年度もクオリティーマネジメント報告会に22の部署から参加をいただいた。医療の質向上は、不断の継続が必要であり、その現れの間として報告会がある。次年度には情報システムも更新があり、医療情報採取がより簡易に行われると期待されており、参加部署の増加などによりこの会がますます発展することが期待される。  
(山田 孝)

#### 専門医等資格委員会

**目的** 診療報酬上加算が得られる資格等、病院に資する資格の取得を希望している職員に対し、資格取得にかかる費用の援助をして院内職員の所持する資格を充実させる。

**委員長** 前田賢人

**副委員長** 水野薫子

**委員** 佐野武尚、酒井秀政、池谷綾子、浅井珠江、桑山安代、後藤 彰、久保田美保子、佐藤友香

**幹事** 戸崎誠也

#### 開催記録

令和2年11月10日

#### 議題

ダヴィンチトレーニング費用等負担について

#### 総括コメント

本年度は上記の1案件のみの検討であった。個人に属する資格取得に対する病院の費用負担の在り方について、資格取得後の病院への貢献を加味することとし、その貢献度に応じて支援することとした。その他の個人資格に対しても、同様の考えを適用することになるだろう。  
(前田賢人)

#### 多職種連絡委員会

**目的** 医師、看護師、メディカルスタッフ、事務職員が互いに連携し、職種にとらわれない柔軟な発想により提案や問題提起をすることで、病院全体の懸案事項について情報を共有し、改善を行うことにより連携強化を推進し職場環境の向上に資することを目的とする。

**委員長** 佐藤景二

**副委員長** 深澤誠司

**委員** 井上暢子、菊池晴香、大柴麗子、山内 恵、

渡邊 悠、中沢 稔、栢永大二郎、杉山弥生、茶山 宣、久保田美保子、森下克己、曾根聖子、望月公次郎、杉山つかさ、佐藤友香、君島鈴奈

#### 幹事持ち回り(輪番制)

#### 開催記録

回数	開催日	議題
第1回	令和2年5月14日(木)	(1) 第58回全国自治体病院学会について (2) リハビリ、放射線技術科業務の連絡 (3) 新型コロナウイルス感染症について
第2回	令和2年7月9日(木)	(1) 自治体病院学会延期(COVID-19のため) (2) COVID-19による外来診療対応について (3) シルバーカーの経年劣化対応について (4) 医局内研究室の移転・改修について
第3回	令和2年9月10日(木)	(1) シルバーカー更新機種について (2) 紫外線照射装置2号機の稼働について (3) 学会等Web参加時の環境確保について (4) 5Sパトロール実施について
第4回	令和2年11月12日(木)	(1) E12、E8病棟向けCOVID-19患者用リハ動画の紹介(リハビリテーション技術科) (2) 外来体操中止(COVID-19対応)対応について(リハビリテーション技術科)
第5回	令和3年1月14日(木)	(1) 多職種リーダー育成研修会開催案内 (2) 各部署保有の超音波診断装置設置状況調査協力のお願(臨床工学科) (3) 休日リハ対応状況について(リハビリテーション技術科)
第6回	令和3年3月11日(木)	(1) 放射線科外来待合の清掃状況について (2) 各科外来患者の待合状況について

#### 総括コメント

令和2年度も各委員の所属部署の業務等について情報共有が行われた。今年度はCOVID-19の影響で業務に必要な各種学会・研修会等の中止または直接参加が見送られWeb参加に切り替わった。そのため、業務運営に必要な講演会・セミナー参加のため、事務局の協力でWeb環境を確保頂き、その旨を周知した。

この委員会は隔月開催である。今後も自部署だけで解決できない問題や広報すべき行事をタイムリーに周知し情報共有することで効率的な業務運営に貢献できるよう意見交換を行ってゆきたい。  
(佐藤景二)

#### PET診療安全管理委員会

**目的** PET/CT検査に係る放射線防護の最適化を図り、医療放射線の安全確保と医療安全の達成を目的とする。

**委員長** 前田賢人

副委員長 安部能崇、増田秀道  
委員 堀 吉孝、乙丸 亨、新井多佳子、矢野佳孝  
オブザーバー 鈴木忠裕  
幹事 小林恵美子

#### 開催記録

令和2年6月15日(月)

1. PET検査状況について
2. 糖尿病患者のPET検査基準について
3. PET/CT装置での肺HRCTについて
4. PET自動投与装置の保守点検について
5. PET検査 ルートトラブル時の応援体制について
6. PET/CTの減価償却について

令和2年4月1日から令和3年3月31日にかけて783件(昨年度は802件)の検査を施行した。他院からの紹介は201件、25.7%(昨年度は157件19.6%)であった。

今年度の委員会では、安全運用についての確認、検査運用上の問題点の抽出と改善についての検討、保険適応症例の確認等を行った。

今後は、診断精度の向上、読影医師の確保等が主な検討課題である。(前田賢人)

#### 認知症ケア委員会

目的 認知症による行動・心理症状や意思疎通の困難が見られ、身体疾患の治療への影響が見込まれる患者に対し、病棟の看護師等や専門知識を有した多職種が適切に対応することで、認知症症状の悪化を予防し、身体疾患の治療を円滑に受けられるよう認知症ケアに関する事項について審議する。

委員長 中村幸治

副委員長 河合王明

委員 井上暢子、嶋根久美子、坪内亜希子、恒川典子、鈴木愛実、石向 航、佐久間恵、

幹事 大倉瑞穂

その他 令和2年7月1日(水)

「認知症ケアマニュアル」第1.3改定施行

令和2年9月18日(金) 認知症ケア研修会開催  
テーマ 「急性期病院に入院する認知症高齢者の看護～認知症高齢者の日常生活自立度を理解し、看護計画・看護実践に繋げよう～」

令和2年10月16日(金) 認知症ケア研修会開催  
テーマ 「BPSDへの基本的対応」

#### 開催記録

第1回 令和2年4月16日(木)

認知症ケアシステムの構築状況について  
認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、新型コロナウイルス感染防止対策として、病棟回診の日時が褥瘡チームと重複し病棟ナースステーションで密接な状態となっているため、回診日時等を今後検討する。

第2回 令和2年5月21日(木)

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、回診対象患者に対する感染に関するマニュアルの記載がないため、今後変更を検討する。

第3回 令和2年6月18日(木)

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、ラウンド方法について、病棟回診記録と回診日時等、認知症・せん妄看護委員会を通じて、7月より新しい方法で実施する。

第4回 令和2年7月16日(木)

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、認知症ケアマニュアルについて、診療報酬改定に伴い認知症ケア加算の点数が、150点から160点に変更となったため、7月1日に改訂を行った。

第5回 令和2年8月20日(木)

認知症ケアシステムの稼働状況について

アセスメントシートの「自立度判定」項目の「無」の内容を変更する。

「設問1 JCS II-30以上・GCS 8以下の状態である」が「はい」の時、自立度判定の背景色を変更する。

認知症ケアチームの活動状況について

第6回 令和2年9月17日(木)

認知症ケアチームの活動状況について

認知症ケア研修会について、eラーニングを活用しながら、第1回目は9月18日(金)に坪内看護師が講師となり開催する。

第7回 令和2年10月15日(木)

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、行動制限、身体抑制、身体拘束について、院内のマニュアル(医療安全マニュアル、職員業務マニュアル、認知症ケアマニュアル)に言葉の定義がされていない。また、認知症ケア加算の減算対象となる身体拘束について、内容が明示されていないため、適切な運用及び用語を今後検討していく。

認知症ケア研修会について、eラーニングを活用しながら、第2回目は10月16日(金)に中村医師が講師となり開催する。

第8回 令和2年11月19日(木)

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について

第9回 令和2年12月17日(木)

認知症ケアチームの活動状況について  
運用、課題について、認知症ケアアセスメントについて、病棟看護師に認知症ケアアセスメントに関するアンケートを実施した。アンケート結果から、認知症ケアアセスメントについて理解が浸透していないことがわかり、リンクナースを中心に評価の仕方をより細かく指導していくことを検討していく。

第10回 令和3年1月21日(木)

認知症ケアチームの活動状況について  
運用、課題について

第11回 令和3年2月18日(木)

認知症ケアチームの活動状況について  
運用、課題について、委員会で認知症ケアマニュアルにおいては、「身体的拘束」に標記をそろえる運用を決定したが、医療安全管理室との協議の結果、院内では「身体抑制」で統一することとなった。

第12回 令和3年3月11日(木)

認知症ケアチームの活動状況について  
運用、課題について  
今年度の認知症ケア研修会について、e-ラーニングでの受講を含めた総参加者人数は1,159名となった。

#### 総括コメント

令和2年度においては、BPSDへの対応方法や、日常生活自立度に即した看護などをテーマにした院内研修会を計2回行った。他にもリンクナースへの指導、マニュアル改定も例年通りに行っている。更には、令和3年度導入予定の新しい電子カルテシステムへの対応を協議・準備している。

当委員会主管のケアチームにおいては、全病棟のうち複数を選定して毎週1回巡回し、最終的に191名の患者さんに介入した。しかし新型コロナウイルスへの対応に病院中が追われた影響もあって、情報収集が不十分となって働きかけが以前ほどスムーズに進まない事例も散見され、今後の改善が俟たれる。

当委員会が立ち上がって4年目になる次年度においては、新型コロナウイルスや新しい電子カルテなど新体制への最適化を推し進め、また数年来の懸案となっている身体抑制への対応についても他部門と協調しながら、認知症ケアの改善を図っていききたい。(中村幸治)

#### 内科専門研修プログラム管理委員会

目的 静岡市立静岡病院における内科専門研修の円滑な運営をおこなうことを目的に設置する。

委員長 前田明則

副委員長 脇 昌子

委員 山田 孝、縄田隆三、小柳津竜樹、松本芳博、岩井一也

外部委員 河合 勉、竹内隆浩、豊嶋敏弘、内藤立暁、

袴田康弘、増田昌文、松田宏幸、横井秀基

事務局 松野謙次

幹事 佐藤隆敏

#### 開催記録

第1回 令和2年7月29日(水)

- 議題1 令和2年度研修状況等報告  
2 専攻医の連携施設研修期間延長について  
3 COVID-19の影響に伴う内科専門研修の措置について  
4 令和3年度採用に向けた活動について  
5 今後の主な予定等について

第2回 令和3年3月8日(月)

- 議題1 令和2年度研修状況等報告  
2 平成30年度研修開始者の修了認定について  
3 令和3年度採用の専攻医について  
4 令和3年度専攻医研修計画について

第3回 令和3年3月31日(水) 書面開催

- 議題1 専攻医1名の修了見込認定について

#### プログラム運営実績

《基幹プログラム採用人数》

平成30年度 3名、令和元年度 5名、  
令和2年度 3名、令和3年度 4名

《連携施設研修派遣実績》

令和2年度 静岡県立総合病院1名、  
静岡済生会総合病院2名、静岡赤十字病院2名

《プログラム修了者》

令和2年度修了者2名、修了見込者1名

#### 外科専門研修プログラム管理委員会

目的 静岡市立静岡病院における外科専門研修の円滑な運営をおこなうことを目的に設置する。

委員長 前田賢人

副委員長 山崎文郎、土屋恭子

委員 米沢 圭

外部委員 漆原直人、上村和康、寺谷直樹、丸尾啓敏

事務局 松野謙次

幹事 佐藤隆敏

#### 開催記録

第1回 令和2年12月11日(金)

- 議題1 本年度の専攻医研修状況報告について  
2 令和3年度の専攻医採用状況について  
3 令和3年度採用専攻医2名の研修計画について

#### プログラム運営実績

《基幹プログラム採用人数》

平成30年度 1名、令和元年度 2名、  
令和2年度 2名、令和3年度 2名

#### 《連携施設研修派遣実績》

令和2年度 静岡市立清水病院1名、  
市立島田市民病院1名、静岡県立こども病院2名

#### 《プログラム修了者》

令和2年度修了者1名

#### 血液浄化センター業務委員会

目的 本委員会は、血液浄化センター（血液浄化療法）における業務の質的向上を図り、患者に安全安心な治療を提供すること、スタッフに安全安心な作業環境を整えることを目的に活動する。

委員長 松本芳博

副委員長 縄田隆三、佐藤景二

委員 池谷綾子、小泉さゆり、大石悦子、後藤 彰、  
大隅 進、馬場英明、佐藤友香

幹事 大隅 進

#### 開催記録

第1回 令和2年8月6日（木）

議題1 血液浄化センターのCOVID-19関連患者対応（COVID-19陰性化患者の詳細）

議題2 COVID-19陽性（偽陽性）患者の血液浄化法  
1）CHDFの昼間デイリー施行  
2）レッドゾーンでの出張透析

議題3 陰圧室（感染症対応隔離ベッド）の設置について

議題4 感染予防ガイドラインに準拠した「リネン（布団）取扱い」の報告

第2回 令和2年9月16日（水）

議題1 血液浄化センタースタッフルーム改装の提案

議題2 陰圧室（感染症対応隔離室）設置の進捗報告  
<継続議案>

議題3 リネン保管、運用準備状況について  
<継続議案>

\*臨時 令和2年12月9日（水）

議題 COVID-19陽性患者の血液透析対応（血液浄化センターの方針）の決定

\*感染管理室、看護部出席にて臨時決議

#### 総括コメント

本委員会は、令和2年7月に新設された。維持透析、集中治療領域を含めた血液浄化療法全般をセンター管理とし、多職種連携、業務効率化、安全確保を主軸に活動方針とする。

初年度は、COVID-19対応に関する事案に終始し、現在も対応するところである。（松本芳博）

#### 特定行為研修管理委員会

目的 静岡病院特定行為研修に関する受講生の募集、入講及び修了などの重要な事項について審議・承認を行う。

委員長 小野寺知哉

副委員長 脇 昌子、縄田隆三

委員 山崎文郎、塚本ひとみ、前田賢人、玉里順子、  
上田 翔、池谷綾子、岩堀聖子、傳刀啓至、  
鈴木忠裕

外部委員 間淵元子

幹事 松野謙次、佐藤隆敏

#### 開催記録

第1回 令和2年9月28日（月）

議題1 受講生選抜試験結果について

2 開講式について

3 受講費用について

4 その他連絡事項

開講式 令和2年10月2日（金）

1 開式の辞

2 受講生紹介

3 挨拶

4 受講生代表挨拶

5 閉式の辞

第2回 令和3年3月19日（金）

議題1 特定行為研修修学資金貸与規程の制定について

2 共通項目受講完了と承認について

3 令和3年度の公募について

4 その他連絡事項

#### 総括コメント

当委員会は、開講へ向けて前年度に組織された検討部会を引き継ぎ、外部委員に静岡赤十字病院 副病院長兼看護部長 間淵元子氏を招いて組織された。今年度は当院看護職員を受講対象者とし、希望者7名を対象に選抜試験（小論文と面接）を行った。総合評価の高い上位5名（術中麻酔管理領域パッケージ3名、創傷管理+栄養及び水分管理関連区分1名、栄養及び水分管理関連区分1名）を合格とした。令和2年10月2日に院内で開講式を開催した。

令和3年3月9日に共通科目修了テストを実施し、審議の結果、受講生全員の共通科目合格を承認した。この他、特定行為研修修学資金貸与規程を制定し、当院看護職員の受講費用の負担軽減を図った。（小野寺知哉）

#### 特定行為研修運営委員会

目的 静岡病院特定行為研修の円滑な運営を行う。

委員長 塚本ひとみ

副委員長 縄田隆三

委員 玉里順子、金 大志、上田 翔、寺井恭彦、  
池谷綾子、岩堀聖子、佐藤隆敏

幹事 松野謙次

#### 開催記録

第1回 令和2年10月28日（水）

- 議題1 受講生の研修進捗状況について
- 2 静岡がんセンターからの実習依頼について
- 3 看護師特定行為研修に係る指定研修機関連絡会の加入について
- 4 その他連絡事項

第2回 令和3年3月15日（月）

- 議題1 共通科目受講完了と成績評価（合否判定）について
- 2 区分別科目の指導について
- 3 その他連絡事項

総括コメント

令和2年10月1日に開講し、選抜試験を合格した受講生5名（術中麻酔管理領域パッケージ3名、創傷管理＋栄養及び水分管理関連区分1名、栄養及び水分管理関連区分1名）を対象に、全日病SQUEeラーニングによる共通科目の受講を開始した。通常業務に支障をきたす事なく、また、演習課題の提出なども予定通りに進捗した。令和3年3月に共通科目修了テストを実施し、成績優秀により5名全員を共通科目合格とした。

今後は区分別科目の受講へと移行する。引き続き円滑な研修運営を行う。 (塚本ひとみ)

